

**情報革命で人々を幸せに**



**2021年10月**

**ソフトバンクグループ株式会社（東証1部 9984）**

## 免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor))をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

## 商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

## 重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

## 本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、それぞれSBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）とSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLAとその関係会社によって運用されているSoftBank Latin America Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社（SBIAを含む）、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBIA及びSBLAは、SBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを運用しており、ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2を含むSBIAによって運営されているSBファンドはSBIA単独で運営され、またラテンアメリカ・ファンドはSBLA単独で運営されています。

1

会社概要

2

事業の概要

3

業績サマリー

4

財務戦略

# 会社概要

(2021年3月末)

商号	ソフトバンクグループ株式会社
設立年月日	1981年9月3日
本社所在地	東京都港区海岸1-7-1
代表取締役 会長兼社長執行役員	孫 正義
子会社数	1,408社
連結従業員数	約5.9万人
証券コード	東京証券取引所一部 (9984)
単元株式数	100株

株価 6,027円

時価総額 10.4兆円

格付 (長期発行体格付)

日本格付研究所 (JCR) A-

S&P BB+

※ 株価および時価総額：2021年10月5日終値を使用。





## 情報革命で人々を幸せに



# ソフトバンクの事業変遷 – グローバルな投資持株会社に

変わらぬビジョン：「情報革命で人々を幸せに」

事業会社

投資持株会社

孫正義がソフトバンクを立ち上げ。名前の由来は「ソフトウェアの銀行」



PCソフトの卸売業

1981年創業



パソコン時代の到来

1996年: ヤフー事業開始  
2000年: アリババへの投資



インターネット・ブロードバンド事業

1996年 ~ 2005年



日本のブロードバンドの普及をサポート

2001年: Yahoo! BB  
ADSL事業開始  
2004年: 日本テレコム買収



2008年: iPhone発売  
(日本初)

2006年: ボーダフォン  
ジャパン買収

SoftBank

モバイルブロードバンド

2006年 ~ 2014年



モバイル事業を通じて生活を豊かに

2014年: アリババグループ  
上場



2013年: 米国スプリント  
買収



2018年: SBKK上場  
SoftBank

2020年: アームのNVIDIA  
への売却に合意



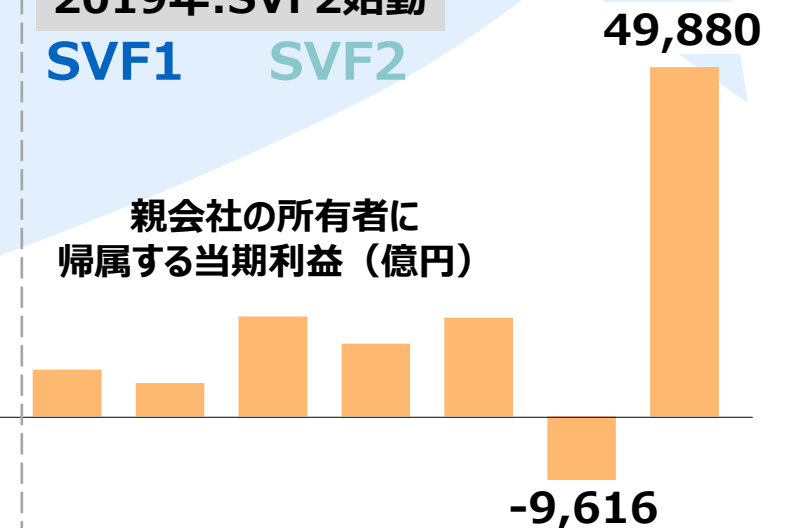
2020年: スプリント、  
T-モバイルと合併



2017年: SVF1始動  
2019年: SVF2始動

SVF1 SVF2

親会社の所有者に  
帰属する当期利益 (億円)



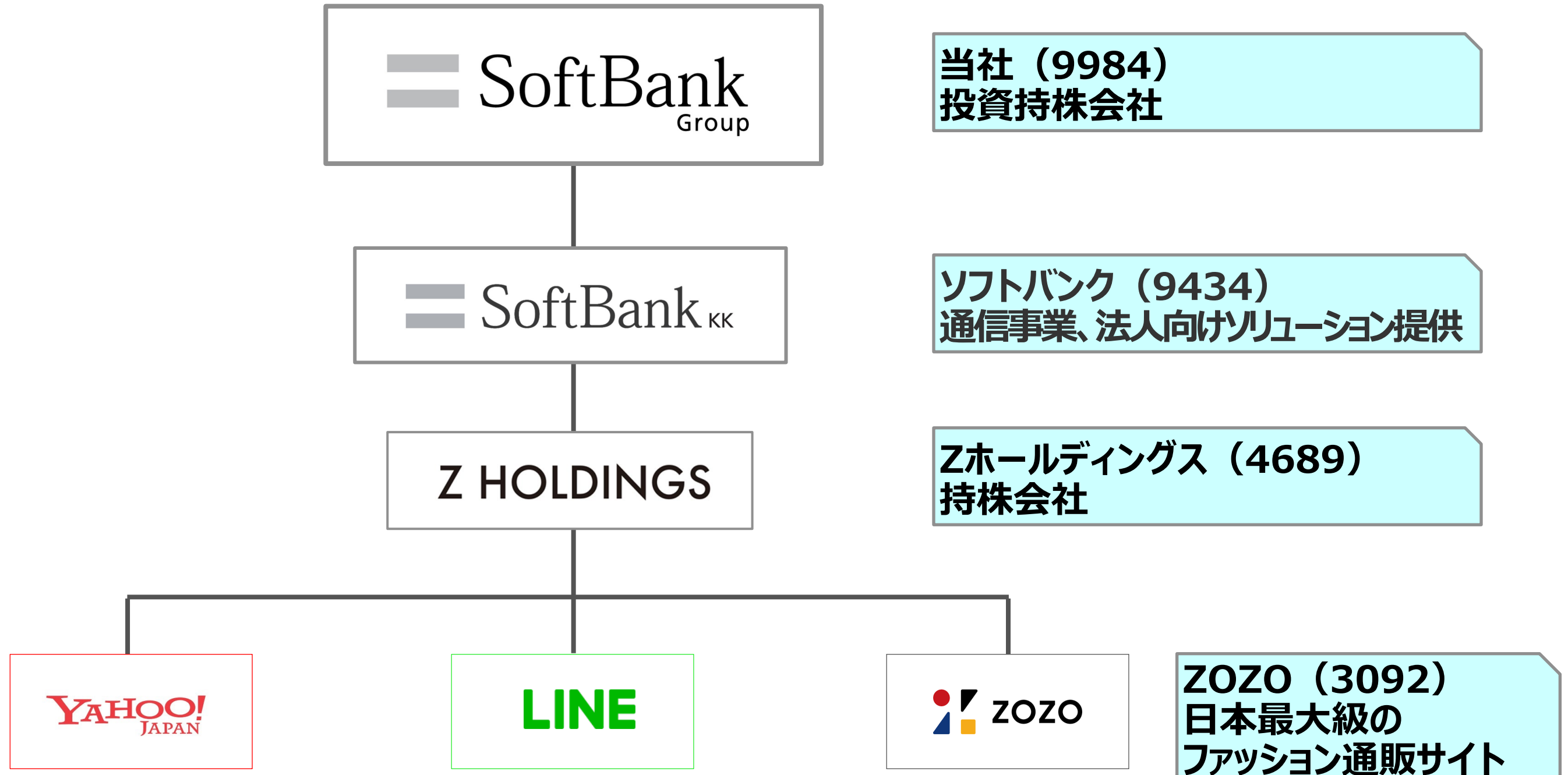
Data and AI

2015年以降



AI革命の実現に向けて

# 当社グループの主な上場子会社





# 事業セグメントの状況

複数の投資エンティティがそれぞれの分野で活動し、本格的なAI時代の到来に備える

SBG

既存投資

 **Alibaba Group**  
阿里巴巴集团

 **arm**

 **SoftBank** KK

 **T-Mobile** TM

SVF1

AI + ユニコーン

 **coupang**

 **DiDi**

 **DOORDASH**

**Uber**

 **ByteDance**

等

合計 **82社**

SVF2

AI + ユニコーン

 **贝壳**

KE Holdings  
(Beike)

 **AutoStore**

 **Klarna.**

等

合計 **91社**

SB Northstar

主に上場株式

Amazon TSMC 等

ラテンアメリカ・ファンド

AI + ユニコーン (地域: 中南米)

Banco Inter VTEX 等

合計**48社**

1

会社概要

2

事業の概要

3

業績サマリー

4

財務戦略

# Vision Fund 1, 2 + LatAm Fund

## 301社 (投資委員会承認済で投資完了前の43社を含む)

### SVF1 (92社)

arm	ROIVANT	AUTO1 GROUP	goto	Alibaba Local Services	NURO	GET YOUR GUIDE	ENERGY VAULT
Fanatics	paytm	Full Truck Alliance	Uber	firstcry	CAMBRIDGE WORLD TELECOMS	Gympass	VNLIFE
wework	OYO	COHESITY	Grab	zume	DELHIVERY Small World	CloudMinds	OLA
IMPROBABLE	众安保险	policybazaar	DOORDASH	RELAY	OakNorth	FUNGIBLE	gopuff
GUARDANT	mapbox	light	zymergen	Globality	Clutter	Collective Health	ziroom自如
nauto	ByteDance	coupang	view	grofers	瓜子 (Guazi)	Greensill	Aurora
VIR	RING AN HEALTHCONNECT	Opendoor	AUTOMATION ANYWHERE	cruise	fair	Rappi	+ JV / 関連会社等 12社
Plenty	COMPASS	Loggi	Zyngor Education Limited	DiDi	getaround	creditas	+ 全持分売却済 11社
brain corp	KATERRA	金融壹聯	REEF	flexport	KLOOK	C2FO	

### SVF2 (161社)

贝壳 (Beike)	unacademy	PEAR	TEMPO	redislabs	IONQ	TigerGraph	fetch	eightfold.ai	INMOBI
alto	ShipBob	XAG	patsnap	EIBA	Better	WorkBoard	formlabs	NATURE'S Fynd	(mmhmm)
lenskart.com	掌门教育 zhangmen.com	seer	etoro	搜心优选 DIDI-GROCERY	Beisen	Exscientia	CONTENTSSQUARE	VIANAI	+ その他投資先 / LP出資 8社
KARIUS	V&T	TESSERA	// FORWARD	BESHIRE GREY	LUM&S	JELLYSMACK	inl	CLEARCOO	+ 21年7月以降の投資先 27社
DDI Autonomous	WHOOP	Flock Freight	Klarna	sendbird	SambaNova	Arise Labs	JDL 京东物流	Umoja	+ 投資委員会承認済で投資完了前の案件 43社
BEHAVOX	Ordermark	keep	jobandtalent	meesho	attentive	Extend	创新奇智 Innovation	cybereason	
Encoded THERAPEUTICS	MindTickle	qualtrics	elevatebio	OneTrust	oda	叮咚买菜	whatfix	Riid	
biofourmis	TIER	STANDARD	cameo	REPertoire	AutoStore	perch	zeta	TREASURE DATA	
XtalPi	UPSIDE	VIVIDION	MANTICORE	insitro	trax	go1	小胖熊	skedulo	

### LatAm (48社)

inter	clip	loft	atom
KAVAK	Loggi	UNICO	dotz
Gympass	uol	konfio	KUSHKI
VTEX	camino	buser	betterfly
Rappi	uol edtech	Contabilizei	Televisa-Univision
creditas	petlove	cortex	Bitso
maderamedeira	Jusbrasil	frubano	+ その他投資先 / LP出資 15社
olist	Afva	Hashdex	
descomplica	QUINTANDAR	habi	

Vision Fund 1, 2 + LatAm Fund (301社) : '21年6月30日時点の投資先 (SVF1=JV/関連会社および全持分売却済11社を含む92社、SVF2=91社、LatAm=48社) + '21年7月1日から8月6日の間に投資したSVF2の投資先(27社) + '21年8月6日時点のSVF2の投資委員会承認済で投資完了前の案件(43社)の合計

SVF2(161社) : '21年6月30日時点の投資先 (91社) + '21年7月1日から8月6日の間に投資したSVF2の投資先(27社) + '21年8月6日時点のSVF2の投資委員会承認済で投資完了前の案件(43社)の合計

SVF2 : その他投資先/LP出資(8社) : Full Truck Alliance、7wireVentures、非開示企業(6社)

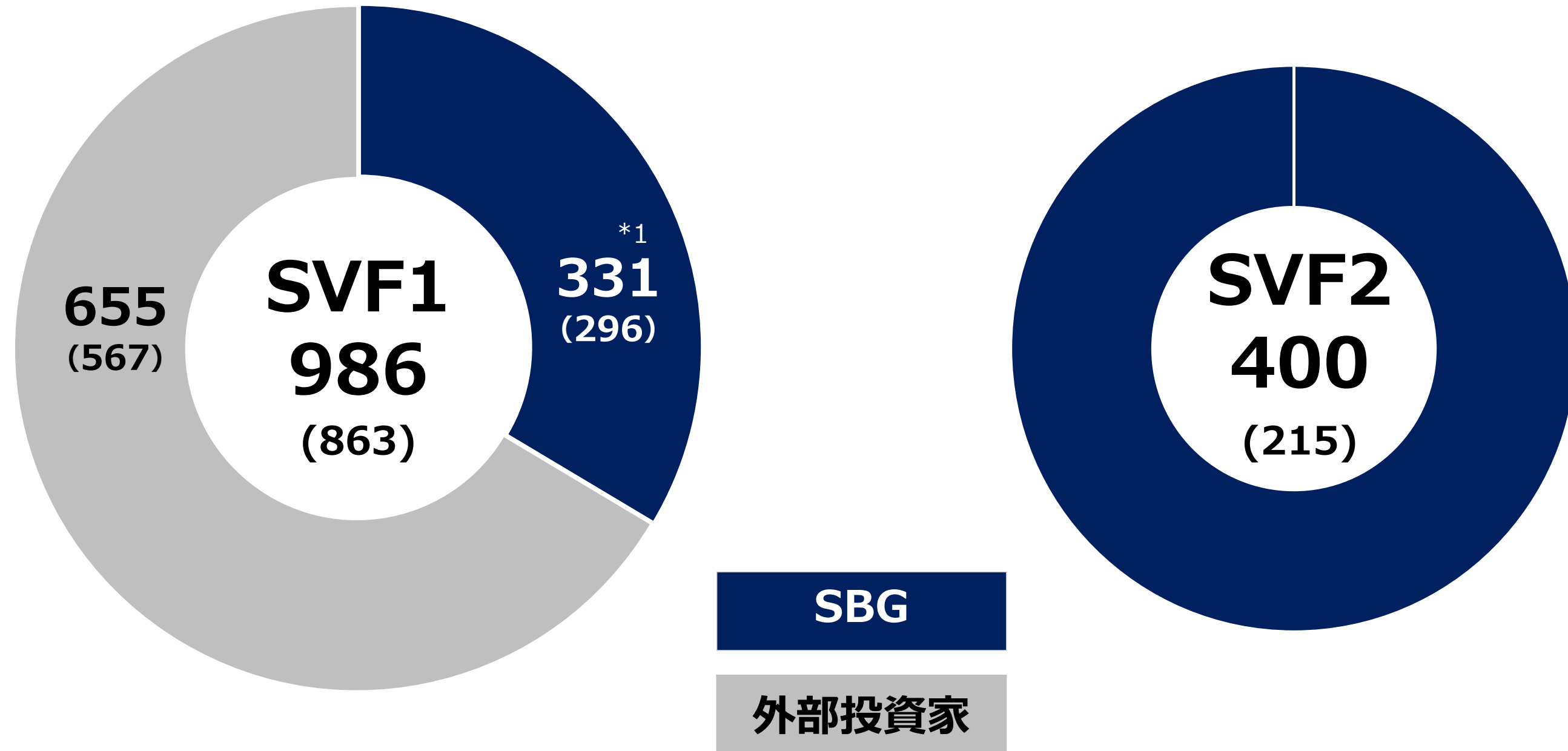
本スライドに記載された計画は実現することを保証するものではなく、そのような計画はすべて不確実性とリスクを伴います。本スライドに記載されている投資が最終的にSVF2またはSBIAが将来運用するいかなるファンドによって取得されるという保証はありません。

SVF1, SVF2 : SBIAが運営しているファンド

LatAm Fund : SBLAが運営しているファンド

# SVF1&2：コミットメント状況（2021年6月末時点）

単位：億米ドル



※ 括弧内は投資実行済み金額

\*1 SVF1への当社の出資コミットメントは、アーム株式を活用した82億米ドル相当の支払義務履行分（全該当株式を拋出済み）のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の25億米ドルを含む

# SVF1の概要 (2021年6月30日現在)

累計投資  
銘柄数

92

累計投資額

859億米ドル

累計リターン

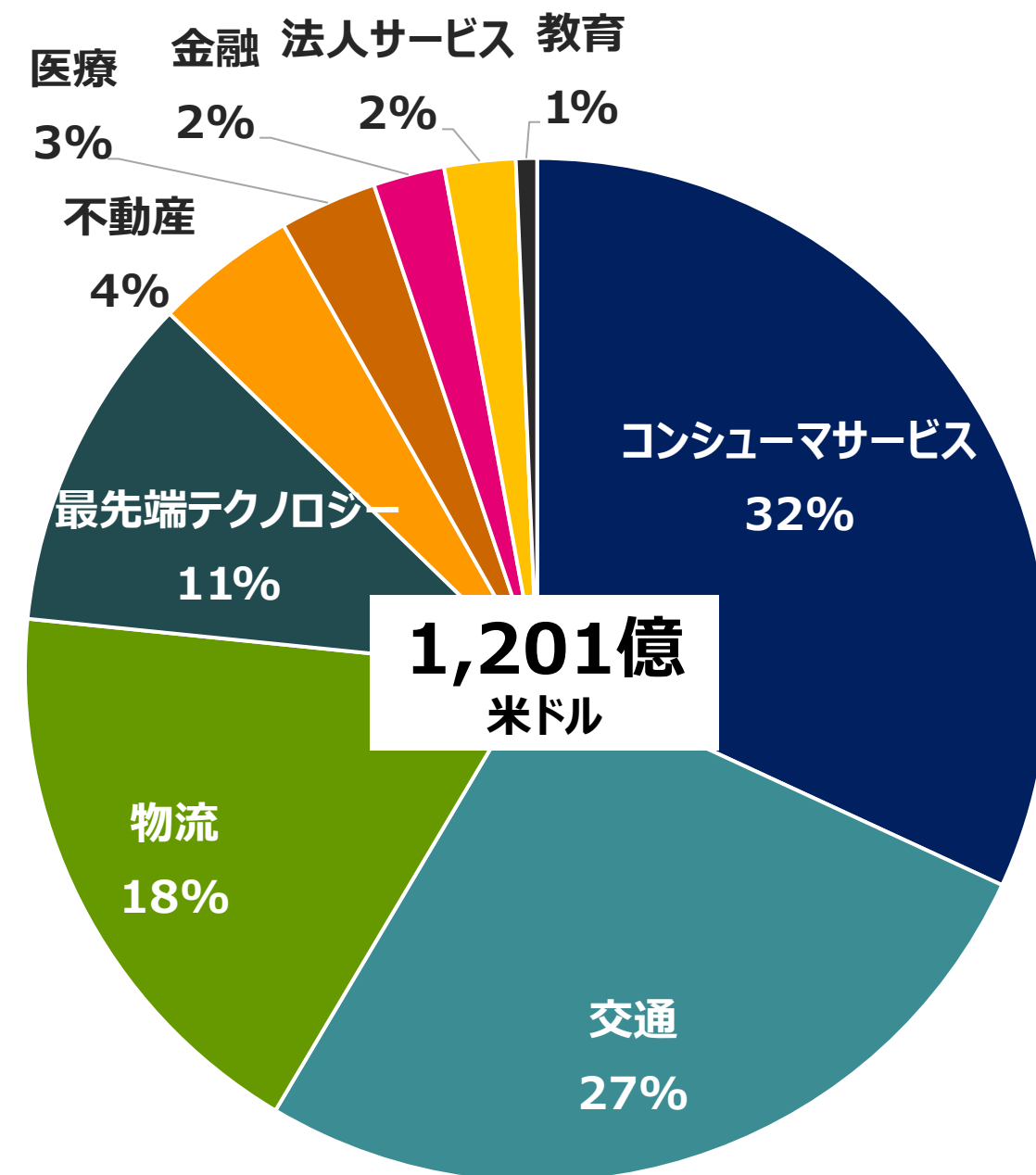
1,442億米ドル

累計損益

583億米ドル

上場銘柄	セクター	事業内容
 coupang	コンシューマサービス	イーコマース
 金融壹账通 ONECONNECT	金融	金融事業者向けプラットフォームの提供
 众安保险 ZhongAn Insurance	金融	保険事業提供
 zymergen®	最先端テクノロジー	バイオテック
 GUARDANT	医療	がん遺伝子検査
 RELAY THERAPEUTICS	医療	製薬事業
 VIR	医療	感染症治療薬の開発
 DOORDASH	物流	フードデリバリー
 满帮 Full Truck Alliance	物流	トラック配車プラットフォーム
COMPASS	不動産	不動産テック
Opendoor	不動産	不動産テック
view	不動産	スマートガラスメーカー
 AUTO1 GROUP	交通	オンライン中古車販売
 DiDi	交通	ライドシェア
Uber	交通	ライドシェア

## セクター別公正価値割合 (2021年6月30日現在)



# SVF2の概要 (2021年6月30日現在)

累計投資  
銘柄数

91

累計投資額

202億米ドル

累計リターン

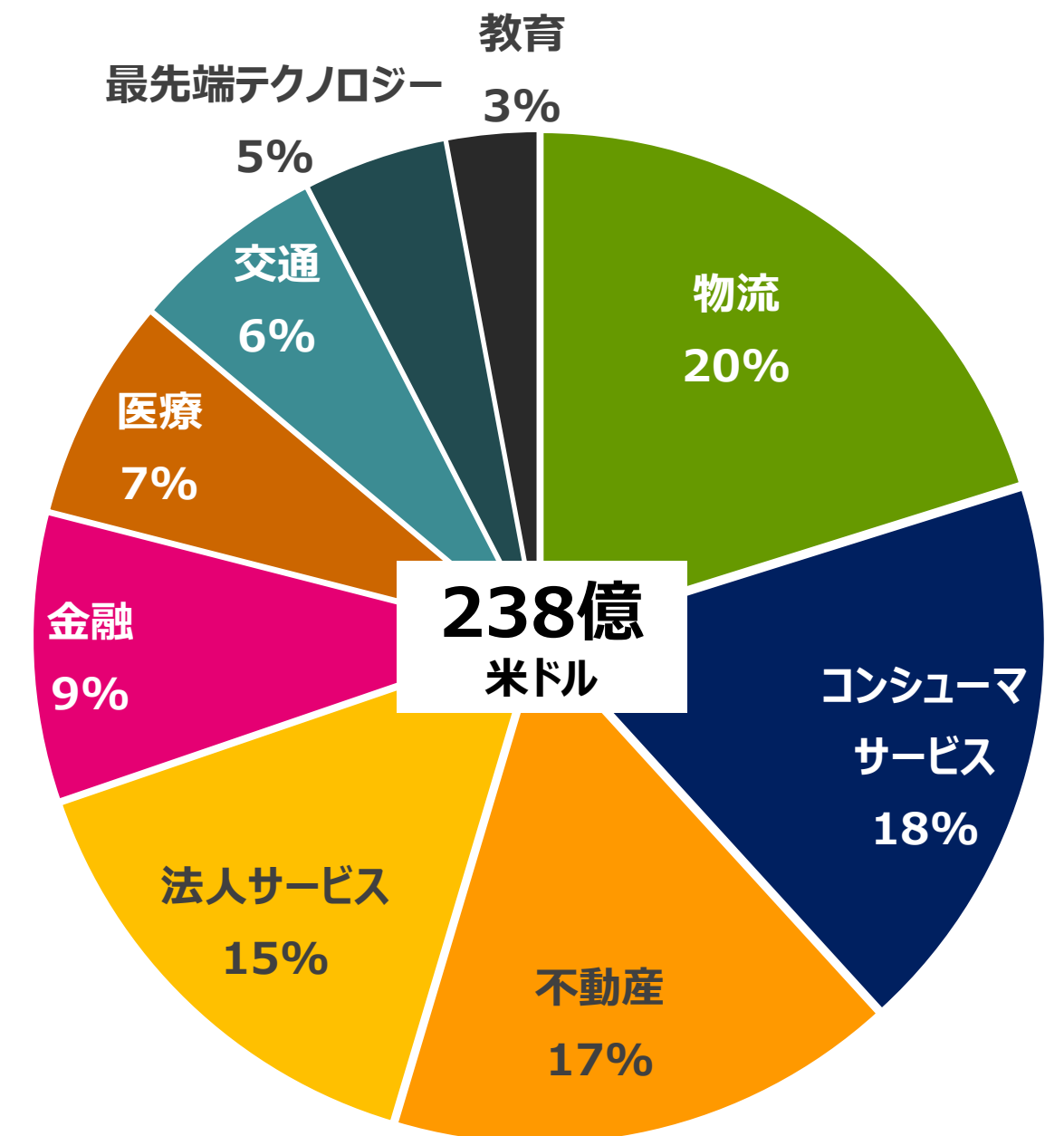
250億米ドル

累計損益

48億米ドル

上場銘柄	セクター	事業内容
 叮咚买菜 (Dingdong)	コンシューマサービス	生鮮食品イーコマース
 掌门教育 zhangmen.com	教育	オンライン家庭教師プラットフォーム
 qualtrics XM	最先端テクノロジー	ソフトウェア
 seer	医療	バイオテクノロジー
 满帮 Full Truck Alliance	物流	トラック配車プラットフォーム
 JDL 京东物流 (JD Logistics)	物流	物流事業
 贝壳 KE Holdings (Beike)	不動産	不動産オンラインプラットフォーム

## セクター別公正価値割合 (2021年6月30日現在)










# SVF1&2の主な投資活動（FY21Q1）：新規上場・投資回収

## 大型上場に加え、投資回収も進展




単位：億米ドル

### 新規上場

2021年6月末  
公正価値

SVF	会社名	上場方式	2021年6月末 公正価値 (億米ドル)
SVF1	 DiDi	IPO	137
	 满帮 Full Truck Alliance	IPO	40
	COMPASS	IPO	17
	 zymergen	IPO	11
SVF2	 JDL 京东物流 (JD Logistics)	IPO	6
	 叮咚买菜 (Dingdong)	IPO	5
	 满帮 Full Truck Alliance	IPO	5
	 掌门教育 zhangmen.com	IPO	1








### 売却

SVF	会社名	売却状況
SVF1	 DOORDASH	一部
	Uber	一部
	 GUARDANT	一部 等、合計6社
SVF2	 贝壳 KE Holdings (Beike)	一部

(注) 投資の売却又はIPOに関する情報への言及は、SVF1およびSVF2の過去及び現在の投資対象のうち上場に係る情報の提供のみを目的としており、SVF1およびSVF2の投資対象の全てを網羅するものではない。SVF1およびSVF2の特定の投資対象に関する情報への言及は、特定の投資対象又は有価証券の勧誘として解釈してはならない。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではない。SBIAが、同社の投資に係る目的、方針及び戦略を実行又は達成するという保証はない。本資料に記載される計画の実現は、投資家の同意又は監督官庁の承認等の不確実性とリスクを含み、ここに記載の全て又は一部の条件で実現することを保証するものではない。

# SVF1&2の主な投資活動（FY21Q1）：新規・追加投資

## 合計135億米ドルの新規・追加投資を実行

ファンド	投資先（アルファベット順）		セクター
SVF2	 AutoStore	AutoStore	ロジスティクス
	<b>Better</b>	Better	フィンテック
	 CONTENTSQUARE	Content Square	エンタープライズ
	 cybereason®	Cybereason	エンタープライズ
	 (Dingdong)	Dingdong	コンシューマー
	<b>INMOBI</b>	InMobi	コンシューマー
	 <b>JDL 京东物流</b> (JD Logistics)	JD Logistics	ロジスティクス
	 <b>JELLYSMACK</b>	Jellysmack	コンシューマー
	 <b>SambaNova</b> SYSTEMS	SambaNova Systems	フロンティアテック
	<b>trax</b>	Trax	エンタープライズ
		その他37銘柄	

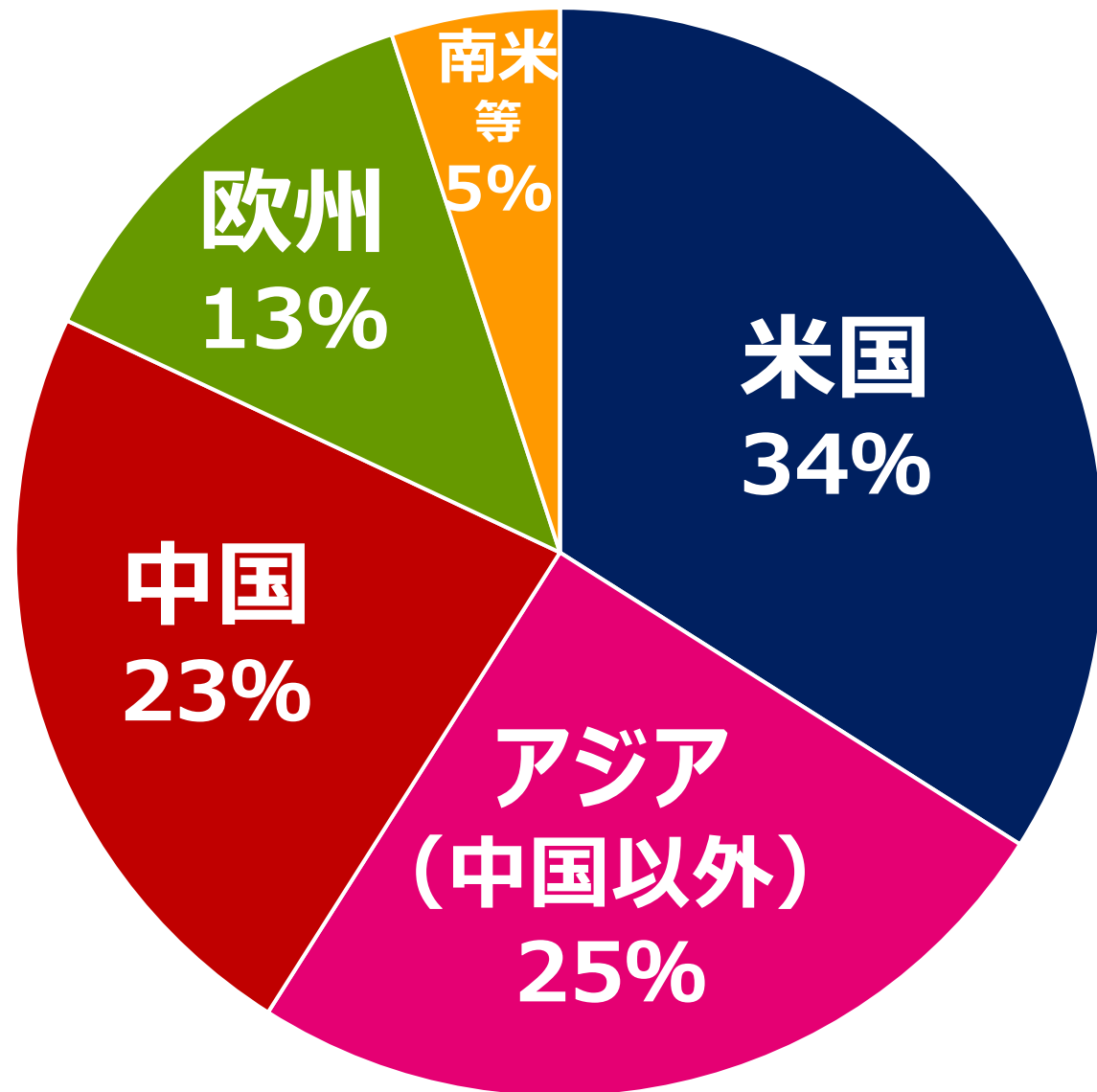
合計47銘柄に  
新規投資



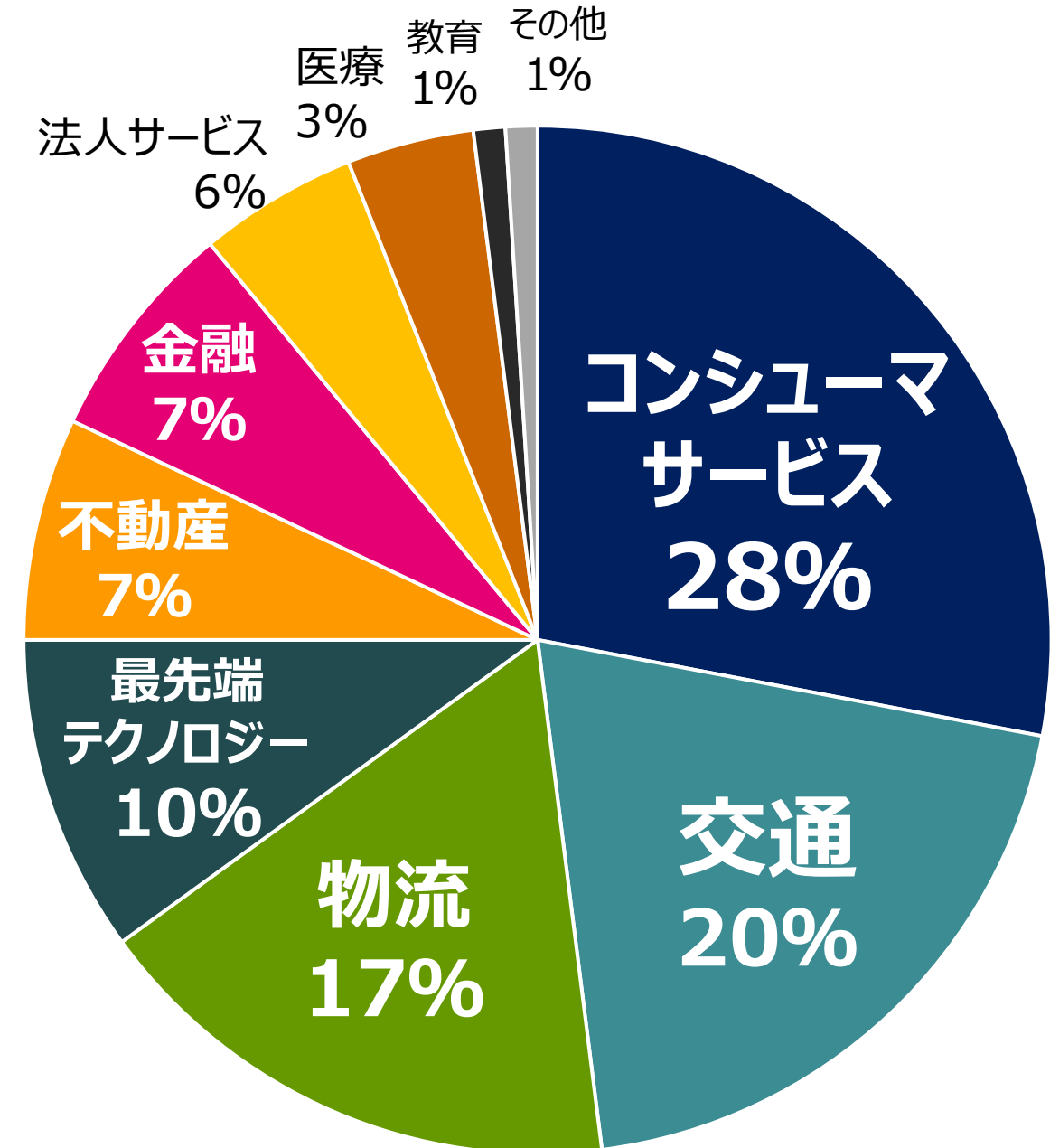
# SVF1&2およびラテンアメリカ・ファンド等投資先 時価 (21年7月末時点・売却済除く)

## 幅広い地域、業種へ投資

国・地域別



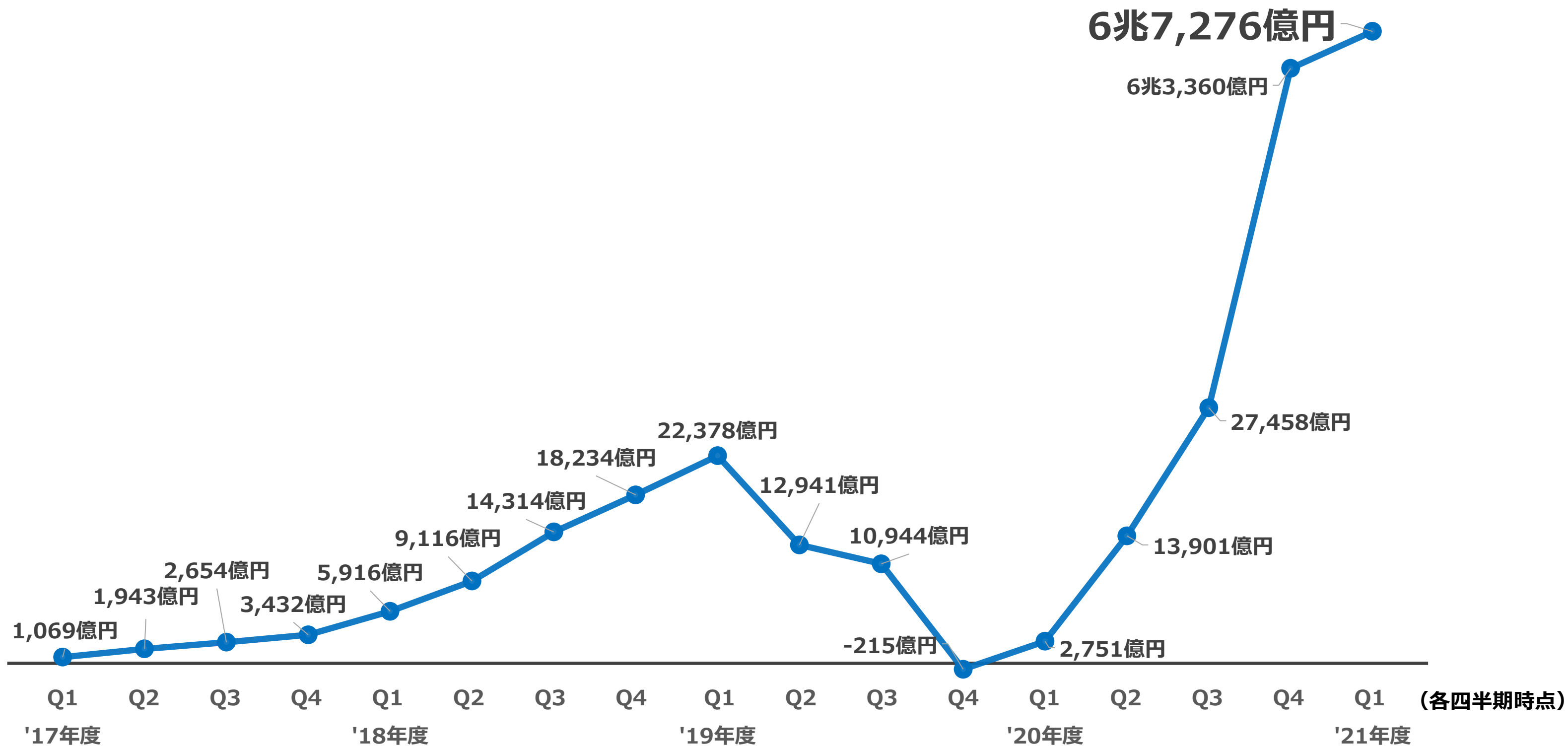
業種別



(注)

1. SVF1 & 2およびラテンアメリカ・ファンド等：SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、その他のSBGによる上場投資および非上場投資（アリババ、Tモバイル、SBKK、アーム、SB Northstarを除く）
2. 時価：上場株は2021年7月30日終値、非上場株は2021年6月末時点の公正価値に基づき算出、売却済除く。
3. 国・地域：投資先の本社所在地に基づき定義、一部LP出資の案件を除く。
4. 業種：SVF1・SVF2はSBIA、ラテンアメリカ・ファンドはSBLA、その他のSBGによる上場投資および非上場投資はSBGが合理的と考え決定した区分に基づき定義

# ビジョンファンド事業 投資損益 (累計)



投資損益：デリバティブ関連損益含む  
 ビジョンファンド事業：SVF1等SBIAの運営するファンド事業

1

会社概要

2

事業の概要

3

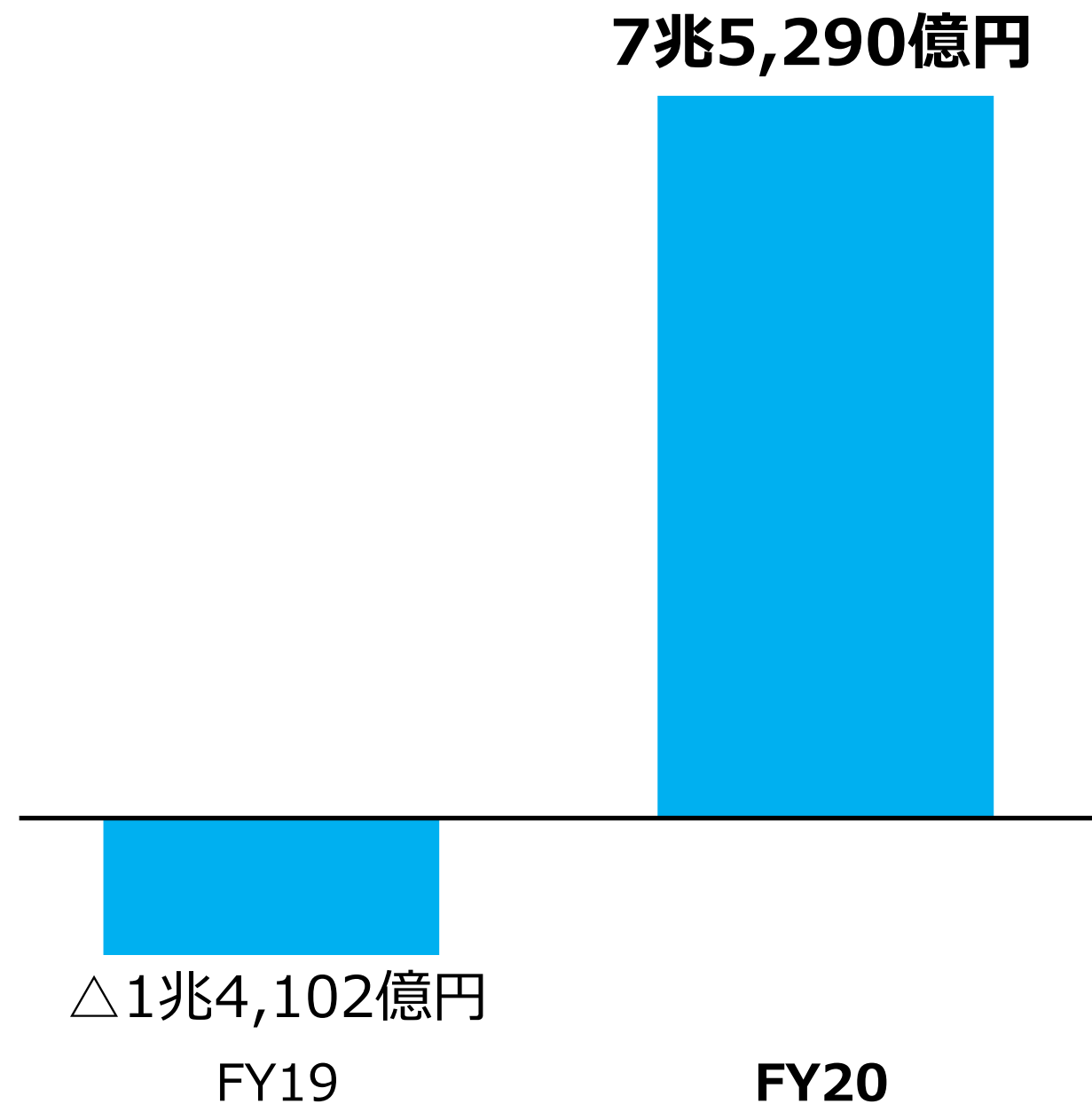
業績サマリー

4

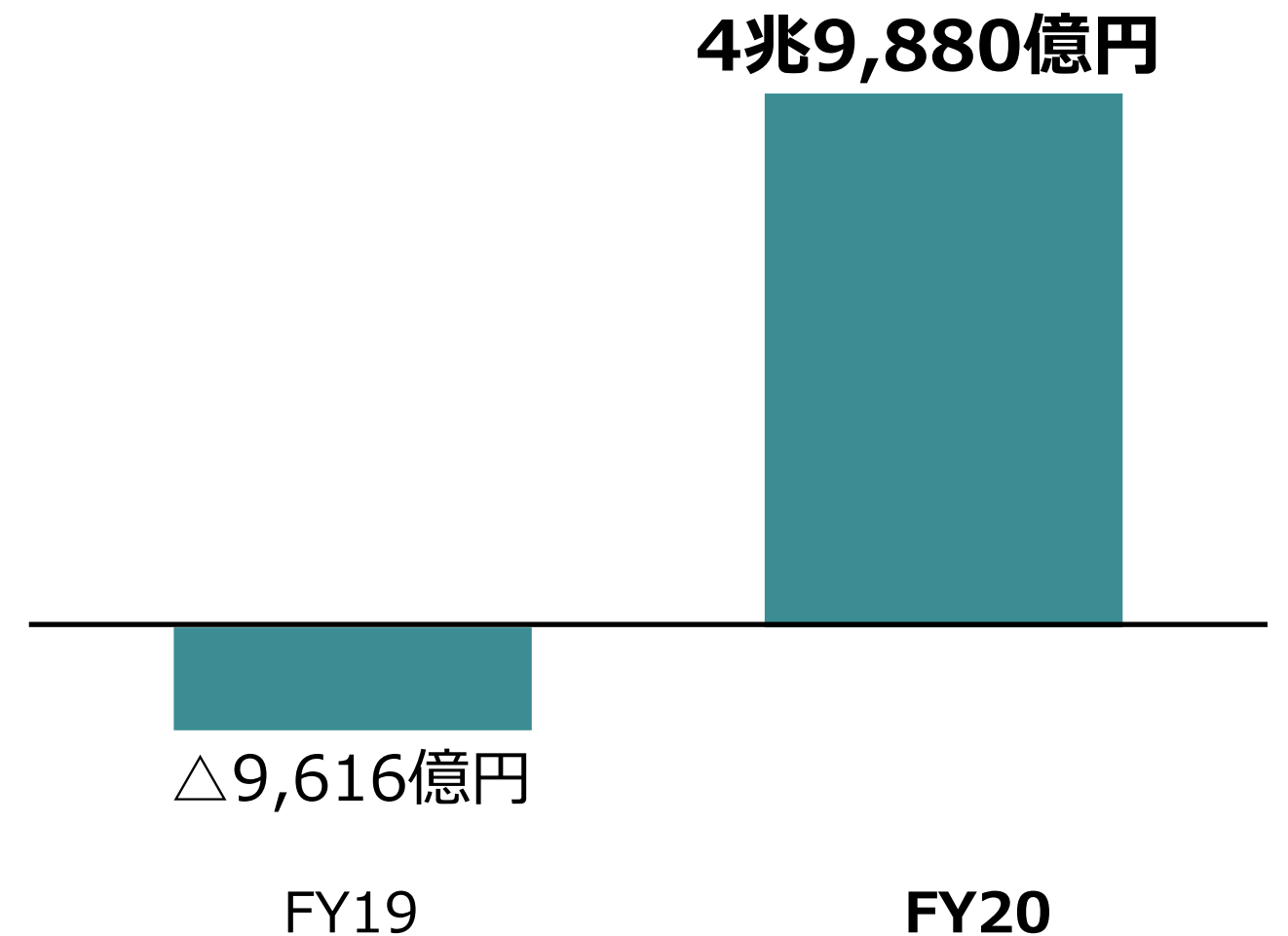
財務戦略

# 投資利益・純利益（親会社の所有者帰属持分）の年度推移

## 投資損益



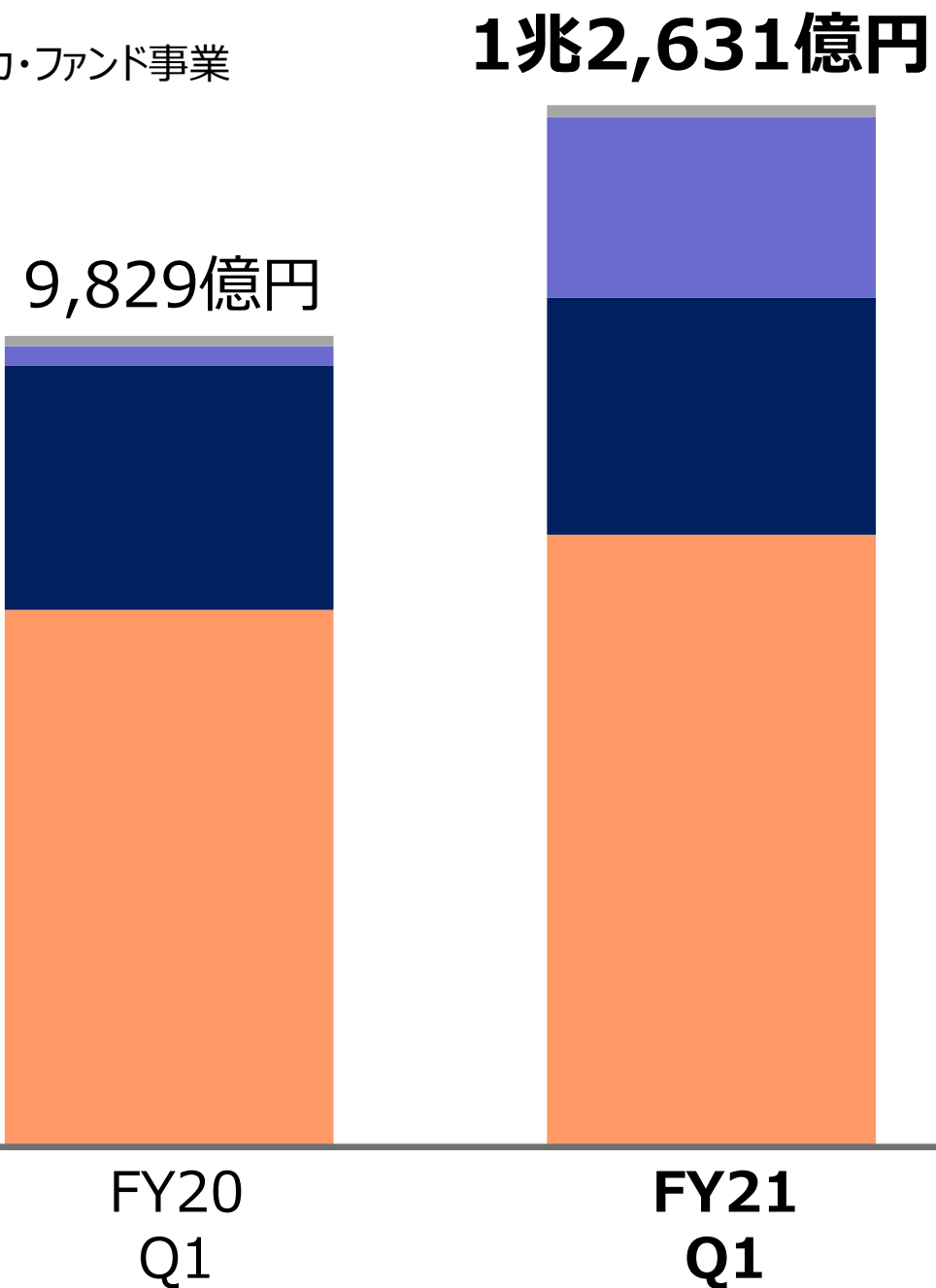
## 純利益（親会社の所有者帰属分）



# 投資利益・純利益（親会社の所有者帰属持分）の増加

## 投資損益

- 持株会社投資事業
- SVF1&2
- ラテンアメリカ・ファンド事業
- その他



## 純利益（親会社の所有者帰属分）

1兆2,557億円



5,211億円

7,615億円

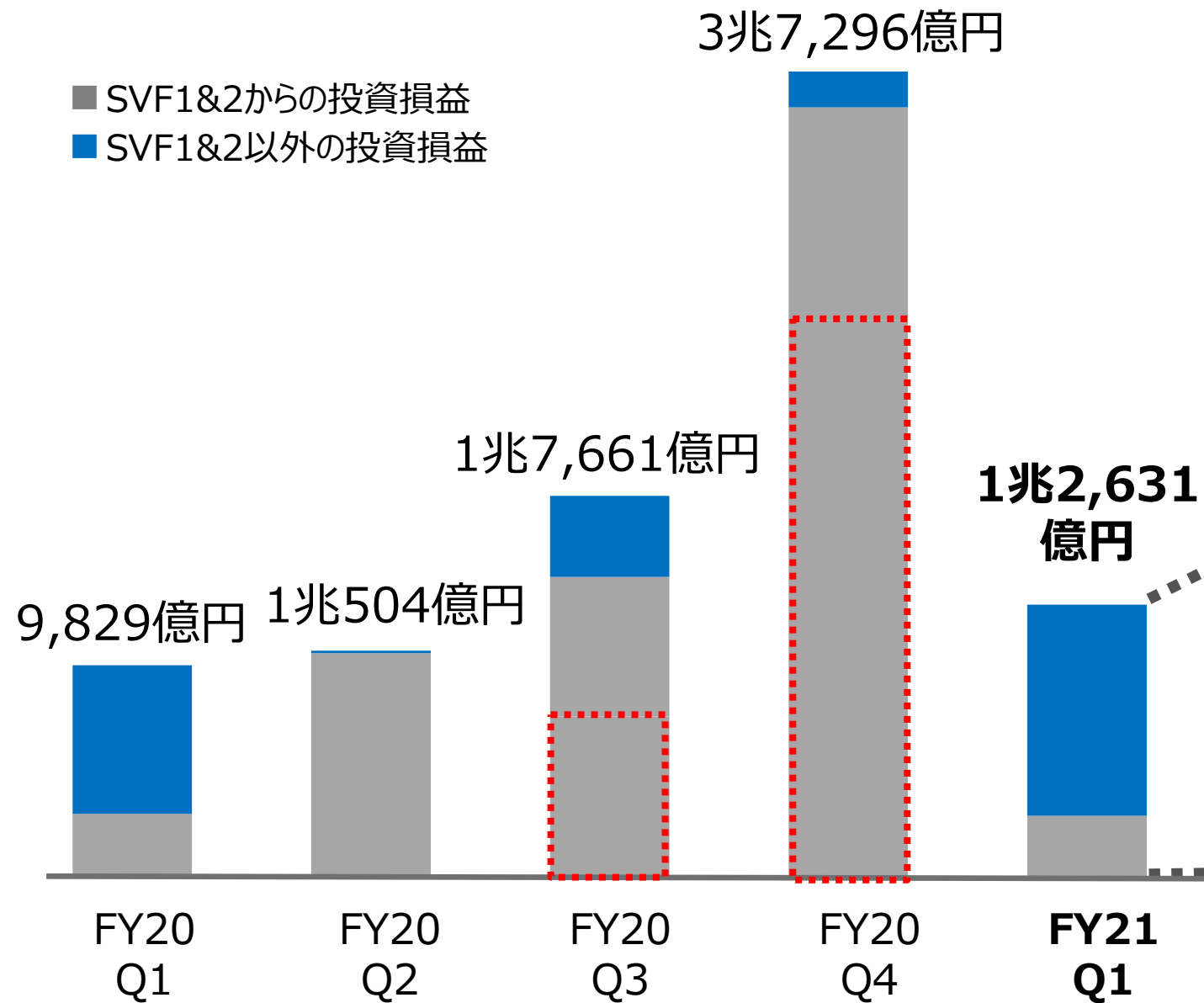
FY20  
Q1

FY21  
Q1

# 投資利益の推移と内訳

ポートフォリオの分散化により、多様なアセットから投資利益を計上

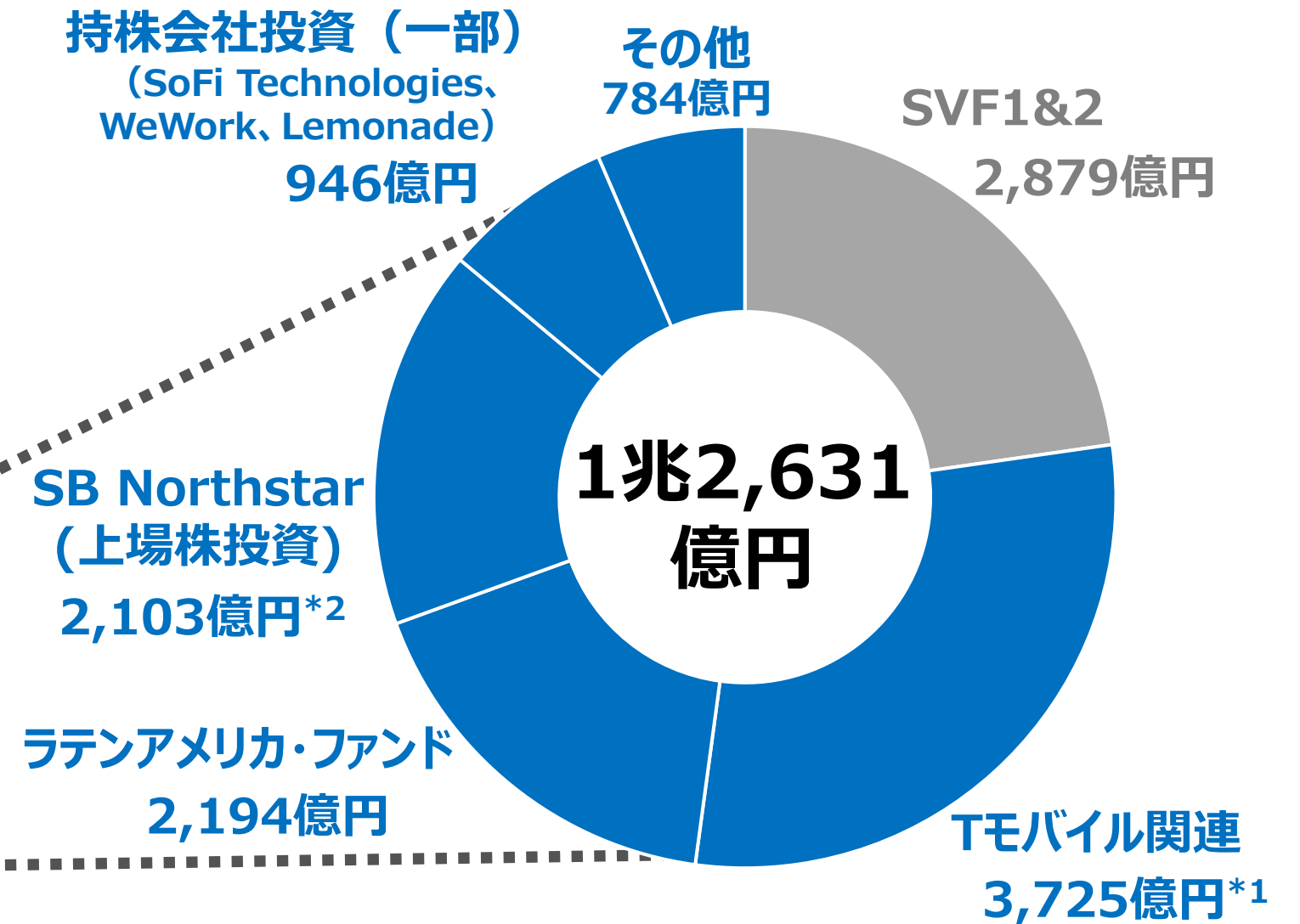
## 四半期推移



DoorDash他  
新規上場

Coupang他  
新規上場

## FY21Q1の内訳



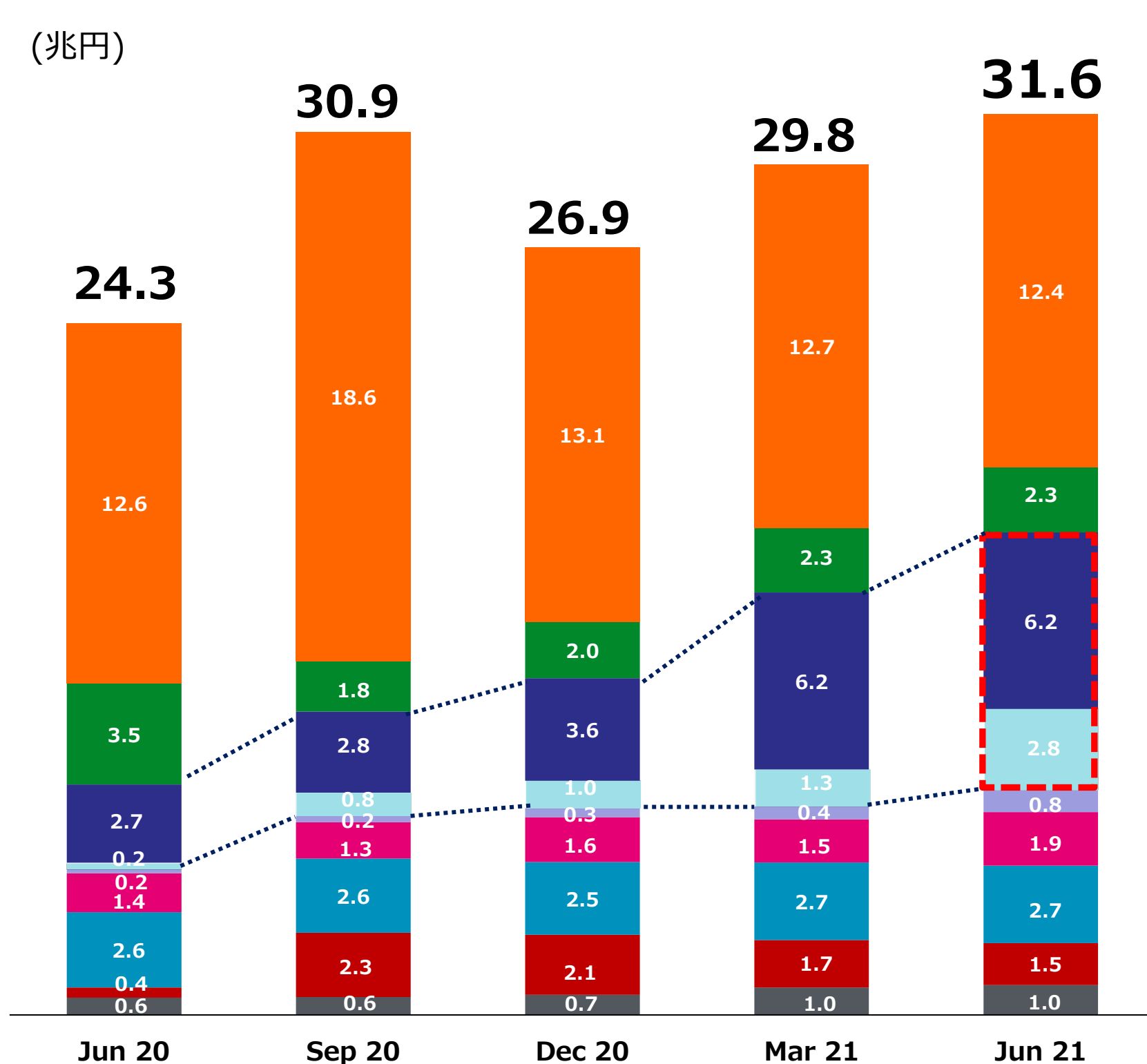
\*1 Tモバイル株式に係る未実現評価益 (2,285億円)、条件付対価の公正価値上昇に伴うデリバティブ利益 (1,978億円) およびDeutsche Telekomの株式購入オプションの公正価値上昇に伴うデリバティブ損失 (538億円) の合計

\*2 SBGおよびSB Northstarの上場株式投資に係る投資損益の合計

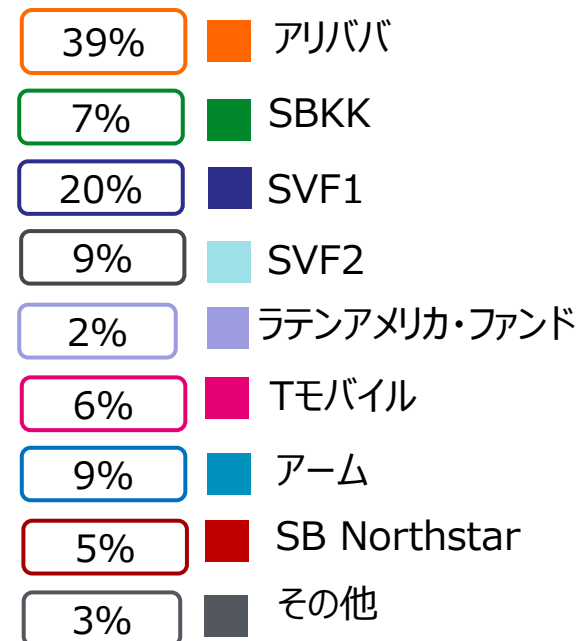
# 保有株式価値

## 保有株式価値は31.6兆円。引き続き高水準を維持

(兆円)



### 構成比



(注) 各四半期末時点

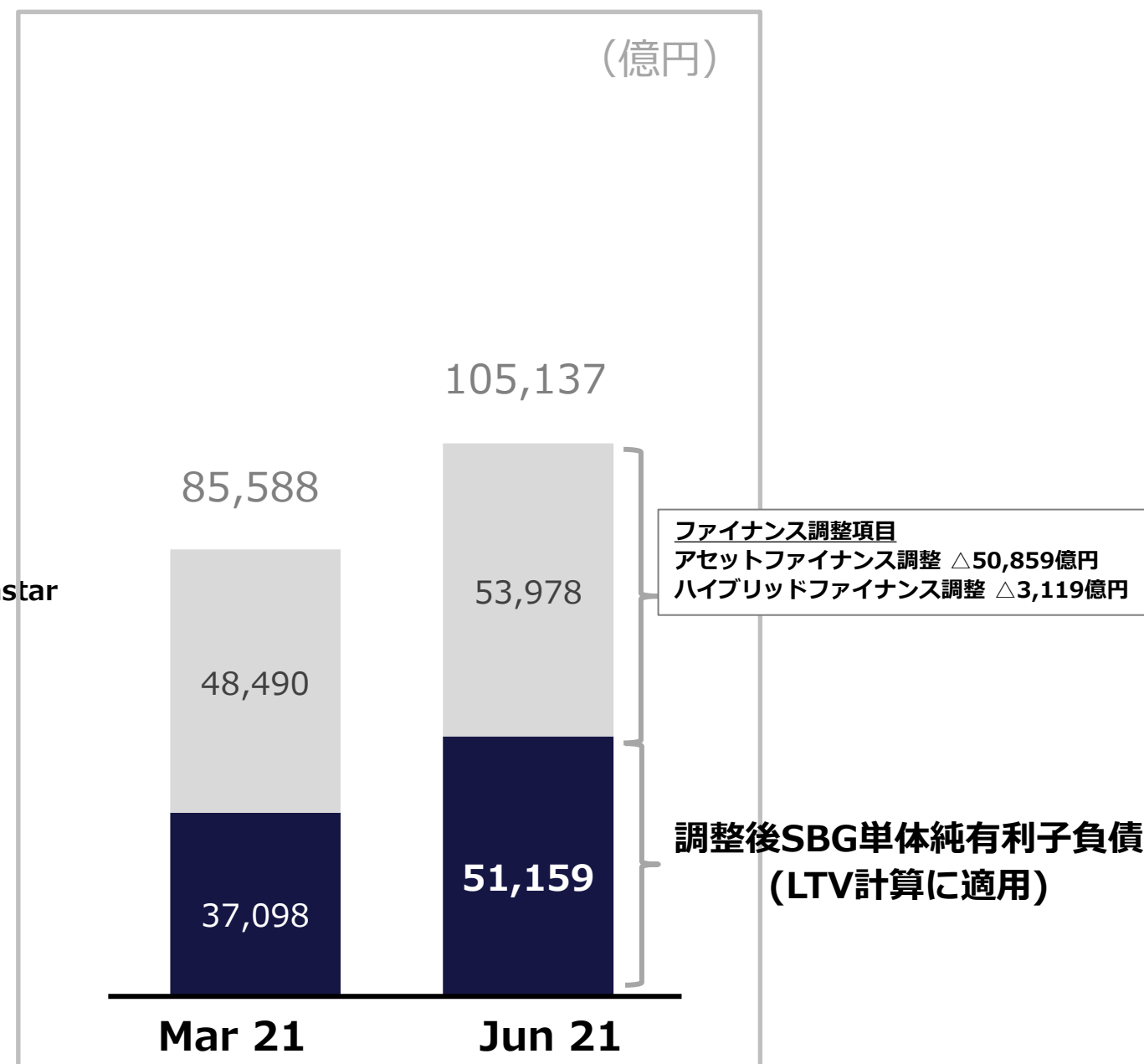
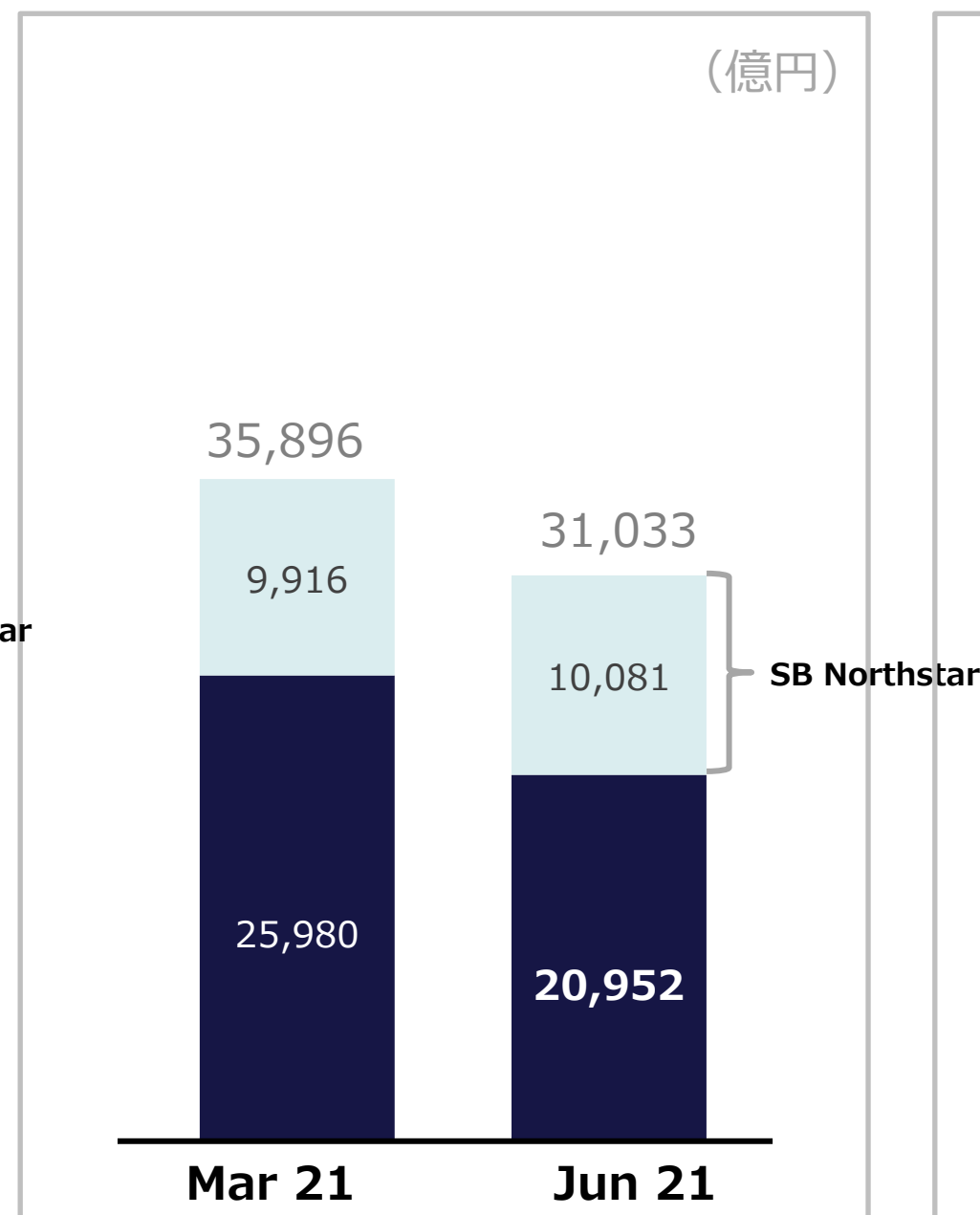
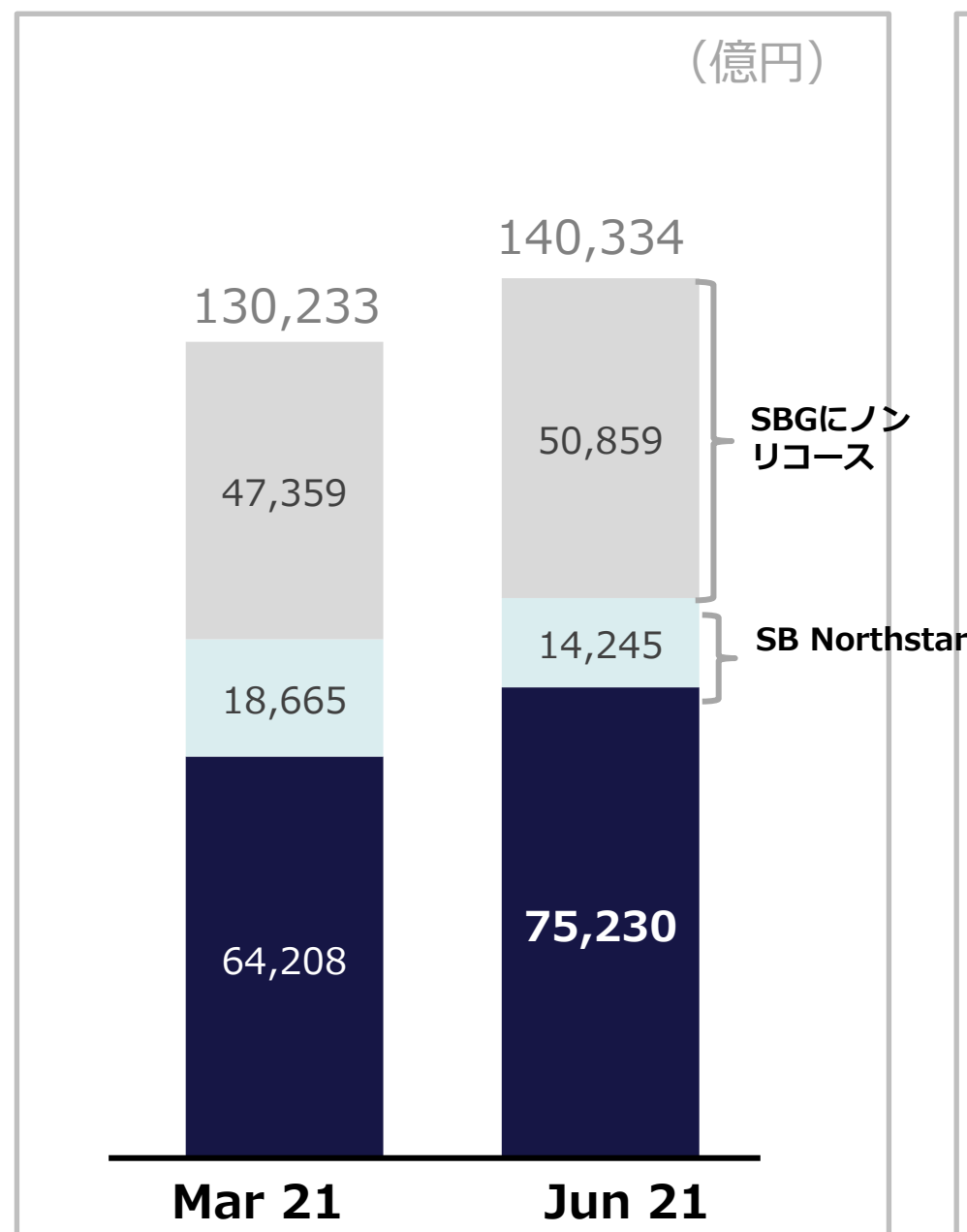
- アリババ：SBGの保有株式数に同社株式（米国預託証券）の株価を乗じ算出  
アリババ株式を活用した複数の先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額、2021年3月および6月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を控除
- SBKK：SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出。SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額を控除
- SVF1：SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2：SVF2の保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- ラテンアメリカ・ファンド：ラテンアメリカ・ファンドの保有資産価値相当 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル：SBGの保有株式数に同社株価を乗じて算出（ドイツテレコムが受領した株式購入オプションの対象となる株式数(101,491,623株)を含む）。一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値およびTモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連し、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値を加算。ドイツテレコムが受領した株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額およびTモバイル株式を担保としたマージン・ローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットファイナンスとしている金額を控除。（Tモバイル株式を担保としたマージン・ローン（借入総額\$4.38B）については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠を控除した金額をノンリコースのアセットファイナンスによる借入額としている）。
- アーム：SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SB Northstar：SB NorthstarのNAV（Net Asset Value）に対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値およびSB Northstarが2020年10月に実行したアリババ株式を活用したマージン・ローンの負債残高相当額を加算して算出。2020年6月末時点は、SBGの上場株投資の価値を記載
- その他：上場株式は、SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出。非上場株式はSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

# SBG単体の有利子負債・手元流動性・純有利子負債

有利子負債： **7.5兆円**

手元流動性： **2.1兆円**

純有利子負債： **5.1兆円**



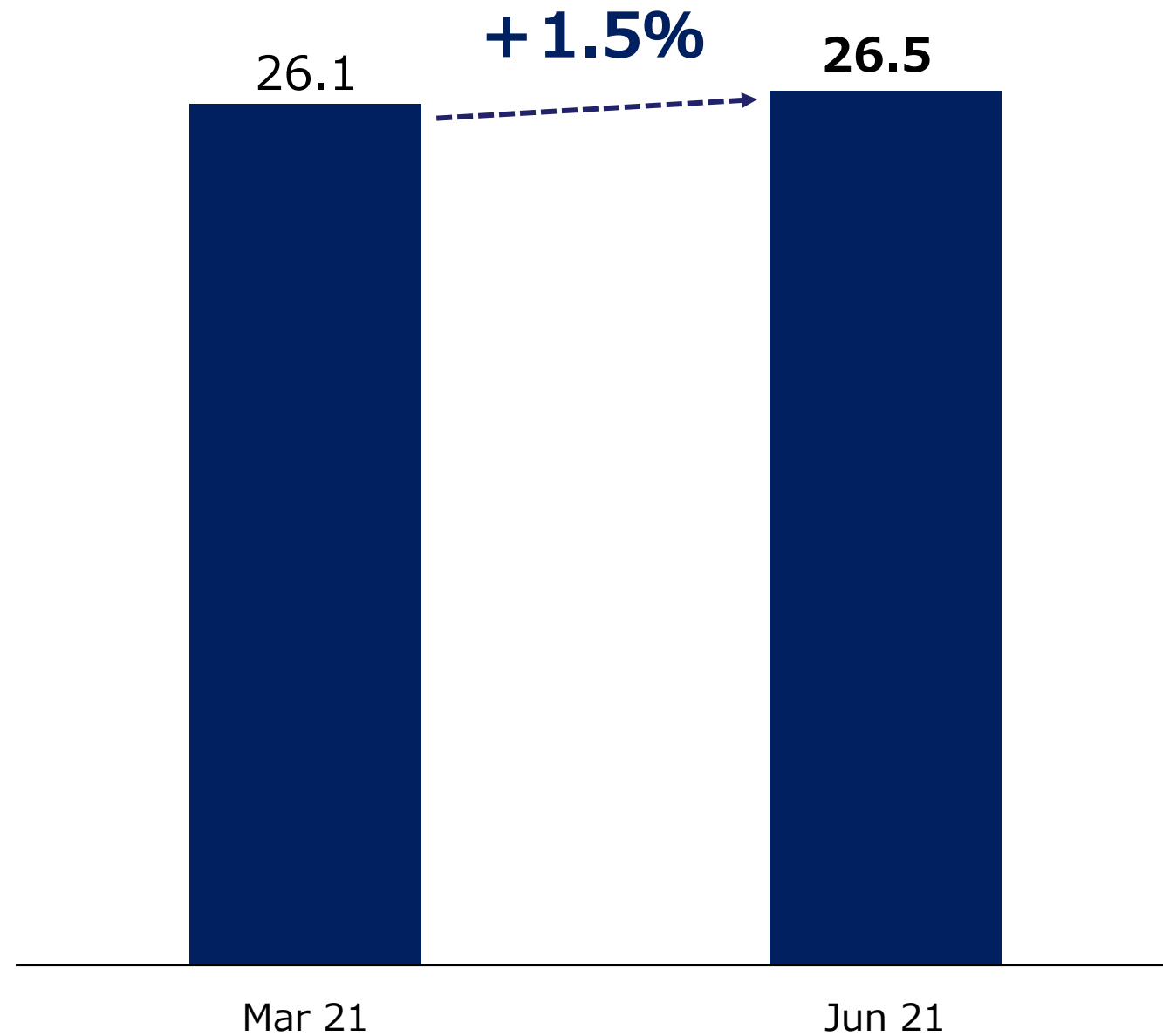


# 1株当たりNAVの上昇

NAV、1株当たりNAVともに前期末から同水準を維持

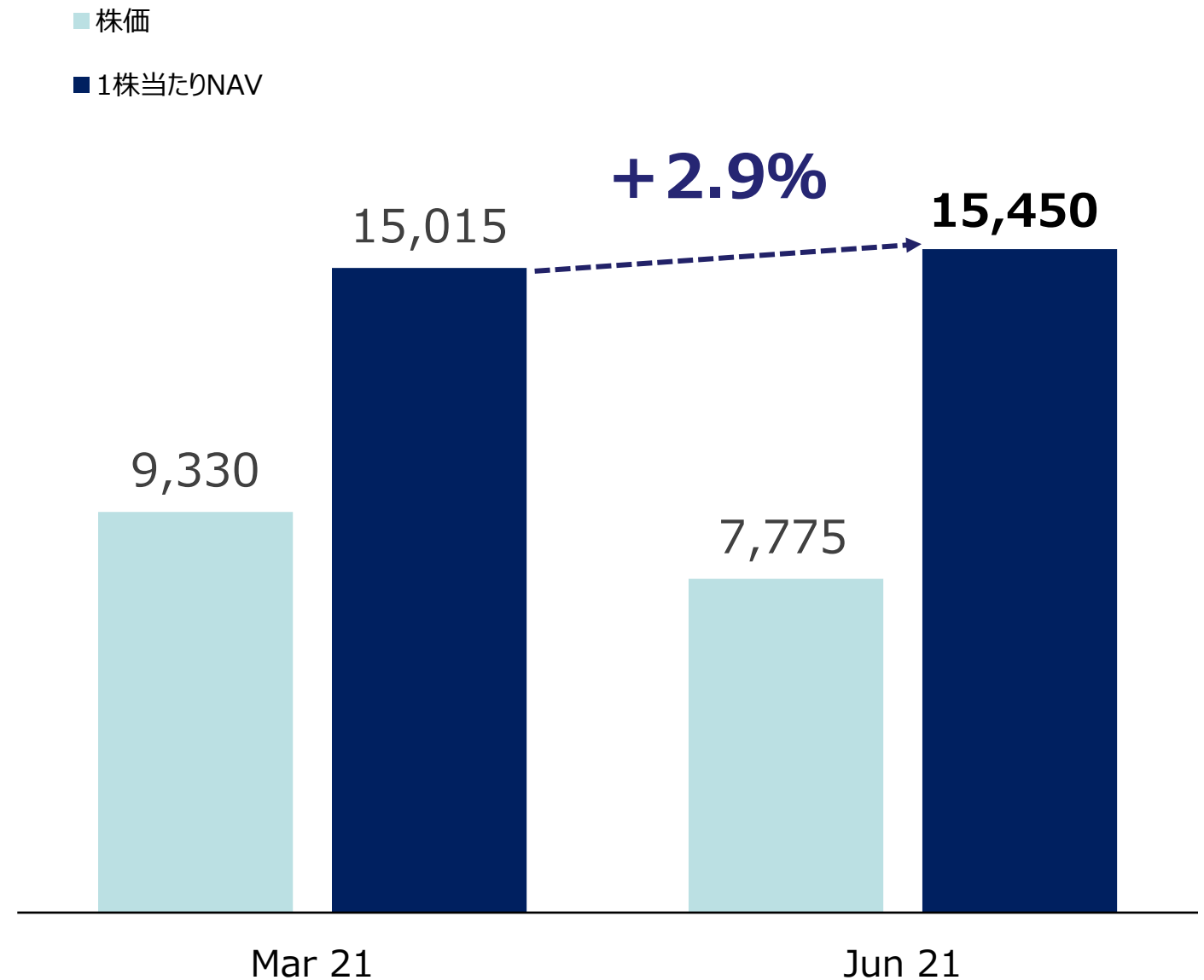
## NAV (Net Asset Value)

(兆円)



## 1株当たりNAV\*1と株価

(円)



(注) 各四半期末時点

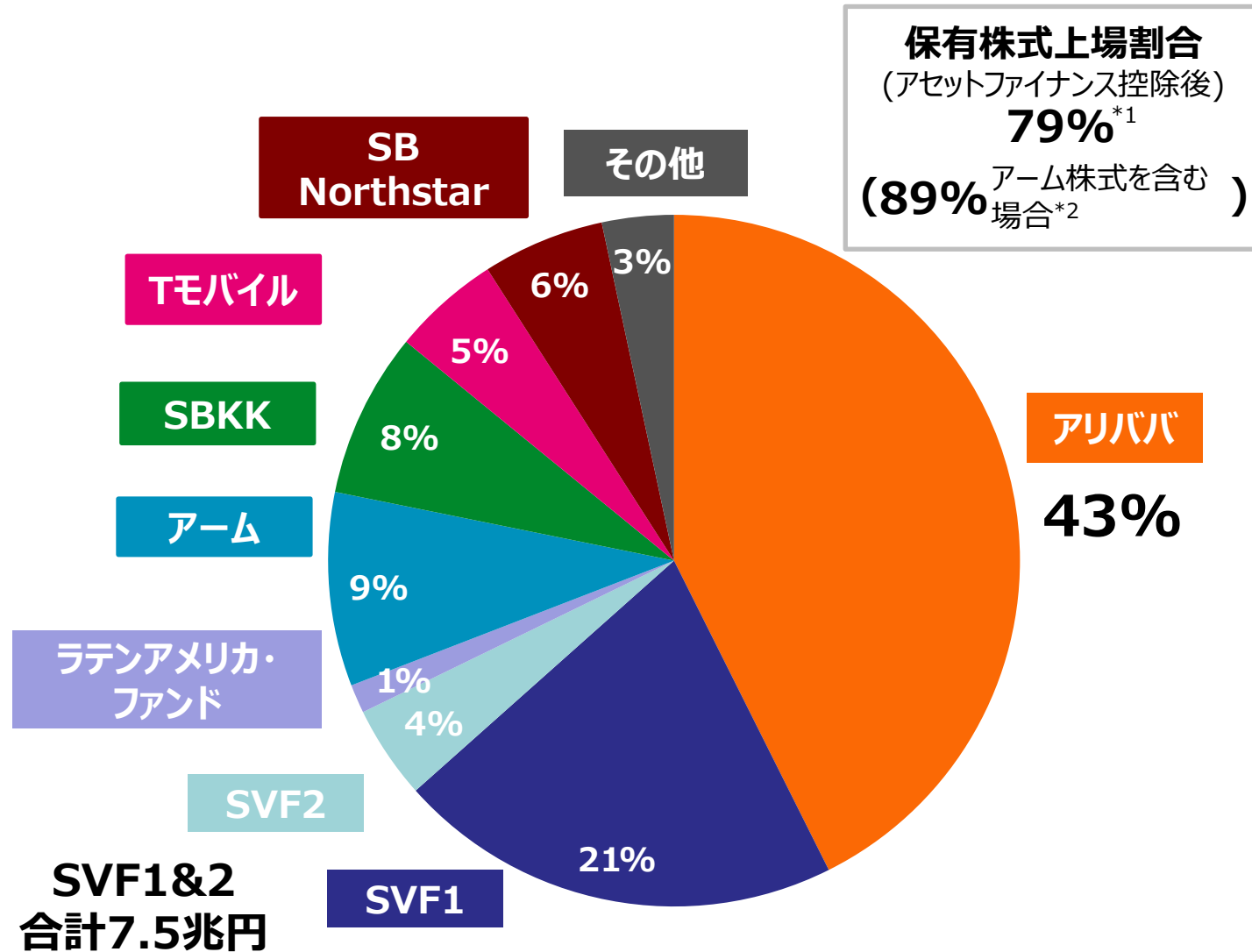
\*1 1株当たりNAV = NAV ÷ 発行済株式総数 (自己株式を除く)

# 保有株式価値：ポートフォリオの分散

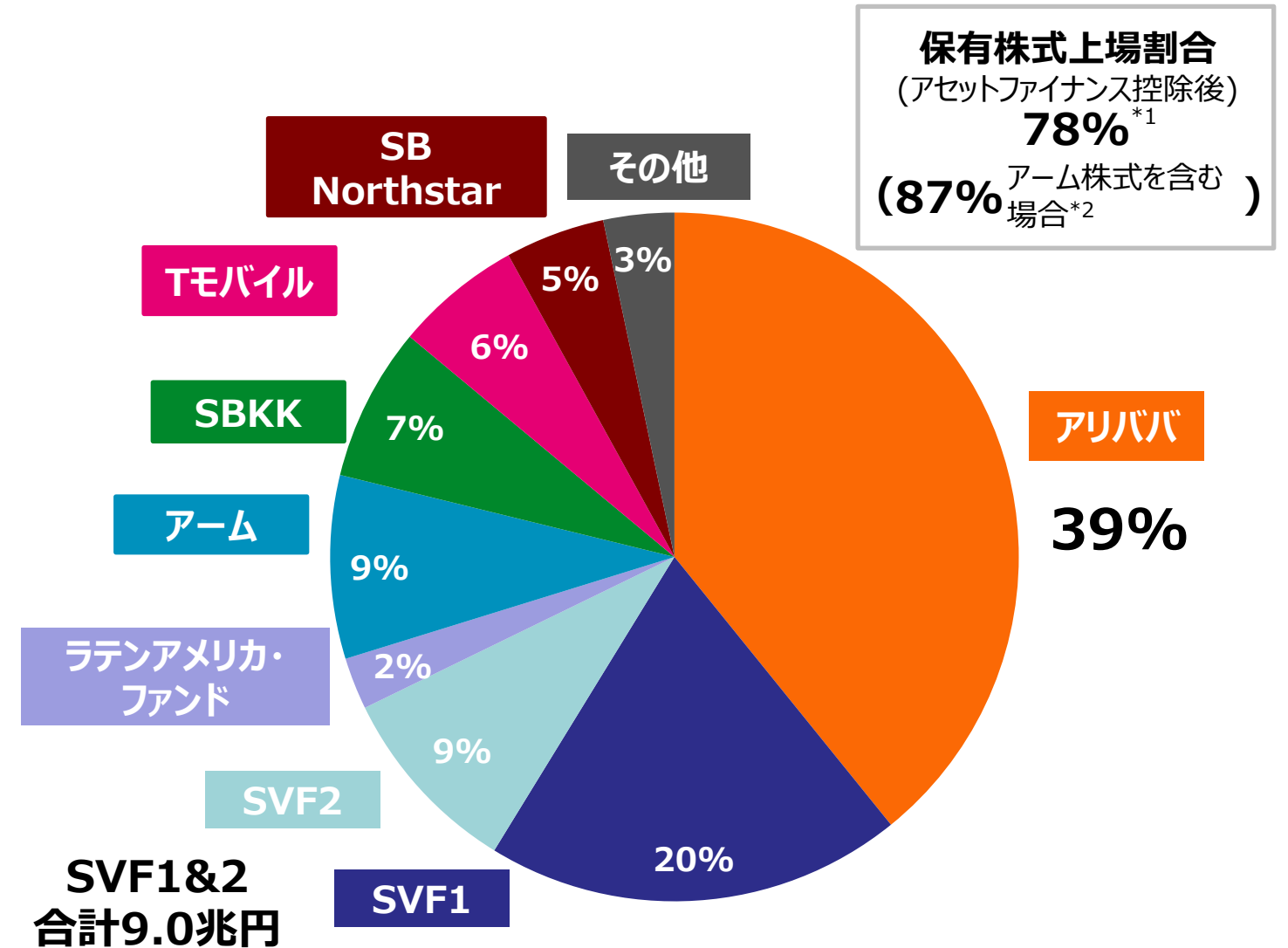
## SVF1&2の価値増加により資産の多様化が進む

アセットファイナンス除く

2021年3月末



2021年6月末



(注) 保有株式価値の内訳についての注記は、財務編p7を参照

\*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・ラテンアメリカ・ファンドが保有する上場株式、SBKK、Tモバイル、SB Northstar、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1はSBGの持分のみを含む）。また、将来のSPAC取引を公表済の投資先は、SPAC取引の発表日以降上場株式とみなす。

\*2 上記\*1で述べた上場株式に加えて、アーム株の売却先であるNVIDIAが上場しているため、本資料では上場株式とみなす。これはその他の開示における取り扱いと異なる可能性がある。

1

会社概要

2

事業の概要

3

業績サマリー

4

財務戦略

## 投資会社として最適な財務戦略の確立

**財務方針の堅持**

**投資事業の拡大  
再生産を可能に  
する財務運営**

# 財務方針の堅持①

---

**1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)**

**2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持**

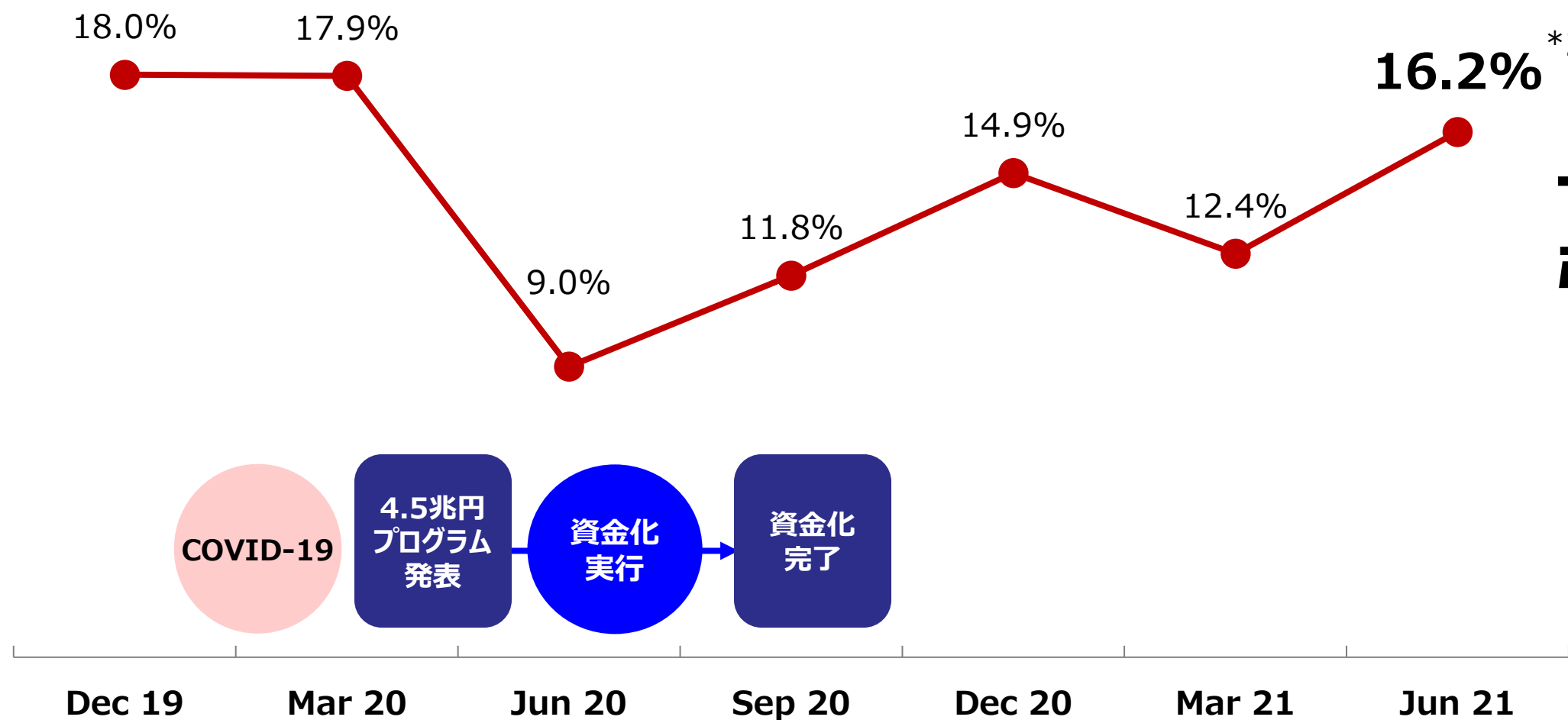
**3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保**

# LTVの推移

## LTVの推移 \*1

アセットファイナンス除く

25%



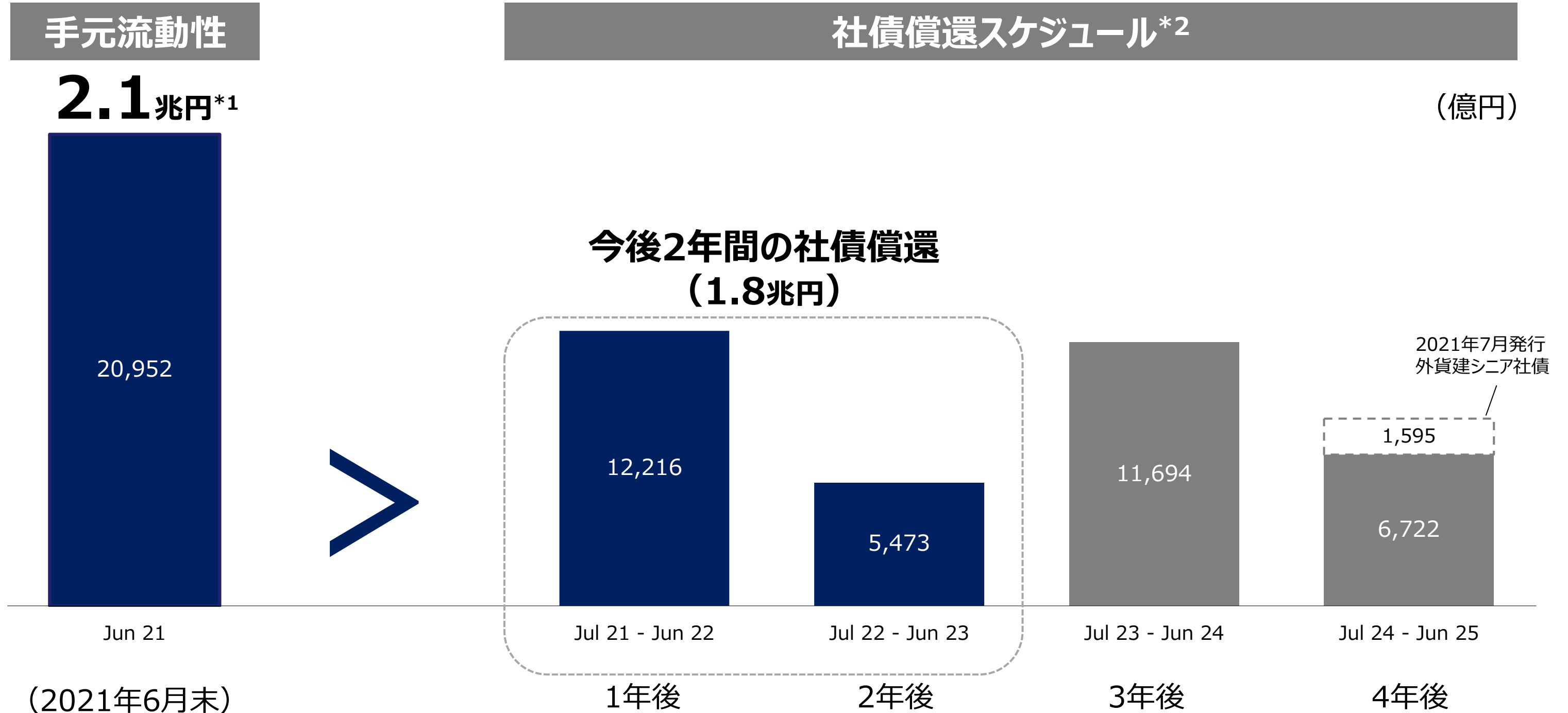
十分な財務バッファーを  
引き続き確保

\*1 各四半期末時点の数値を記載

\*2 詳細は、2022年3月期第1四半期投資家向け説明会資料財務編 47～48pに記載

# 手元流動性

## 常に社債償還2年分を超える潤沢な手元流動性を維持



\*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットライン未使用枠。2021年6月末のコミットライン未使用枠なし。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

\*2 社債償還金額はバイバックにより取得した自己保有社債を除く。

## 財務方針の堅持② 投資先サポートの方針

---

投資先の財務は  
独立採算

救済投資は  
行わない



## 投資と回収の サイクルを確立

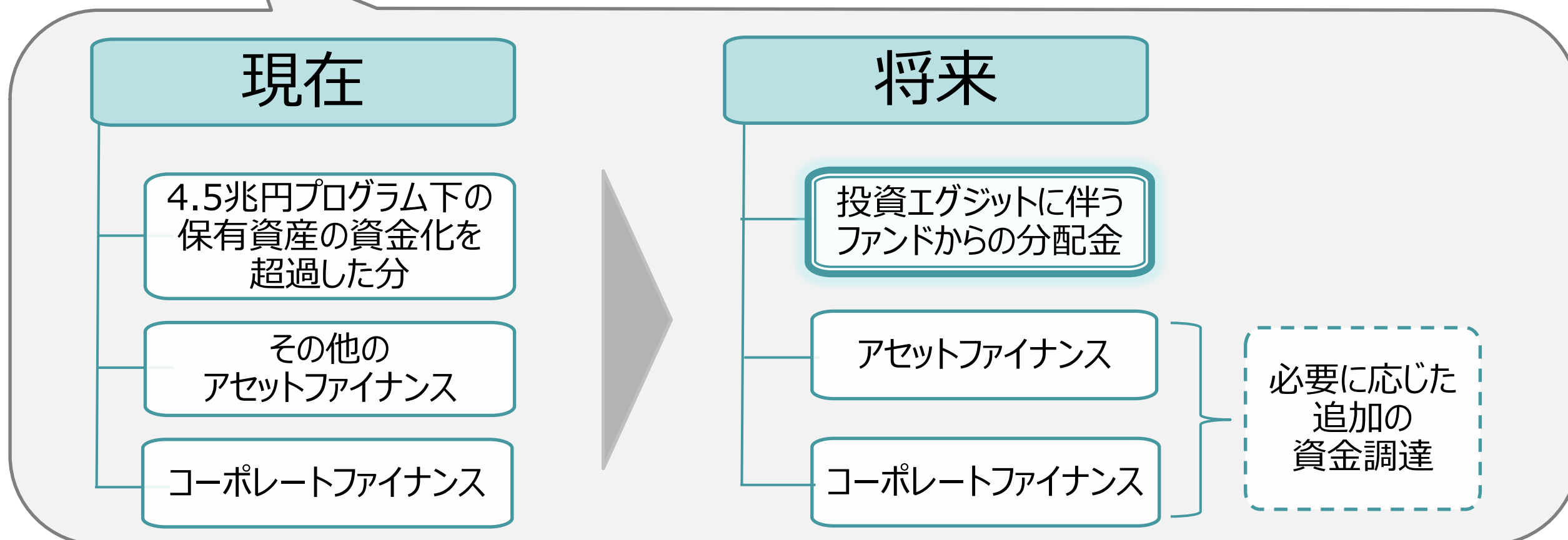
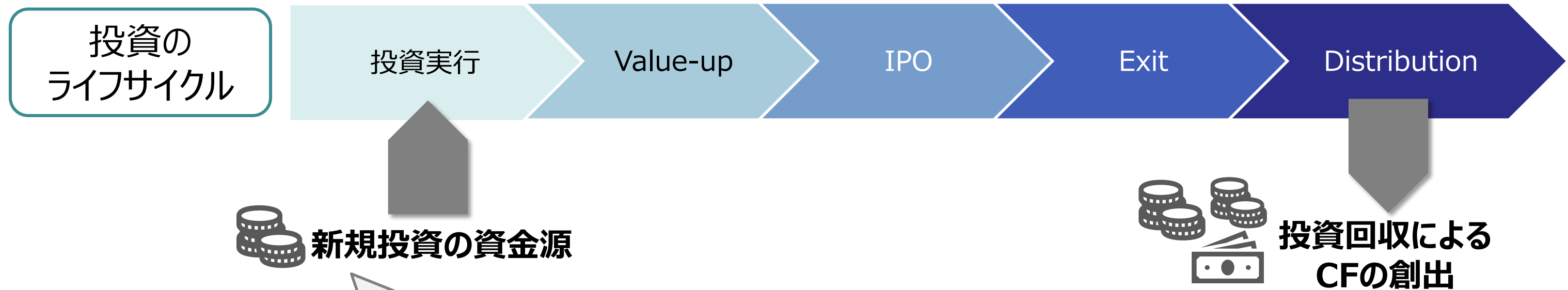
- 「投資」→「回収・CFの創出」→「再投資」のサイクルを確立
- 必要投資資金を十分に上回る回収時には、ステークホルダーへの還元も考慮
- 危機時には保有資産の資金化等による財務改善を優先

## 魅力的な投資機会を 捉える資金調達

- LTVを意識したレバレッジの活用
- 多様な調達手段の最適ミックス（手法/市場/プロダクト等）
- 市場・金融機関との対話を重視

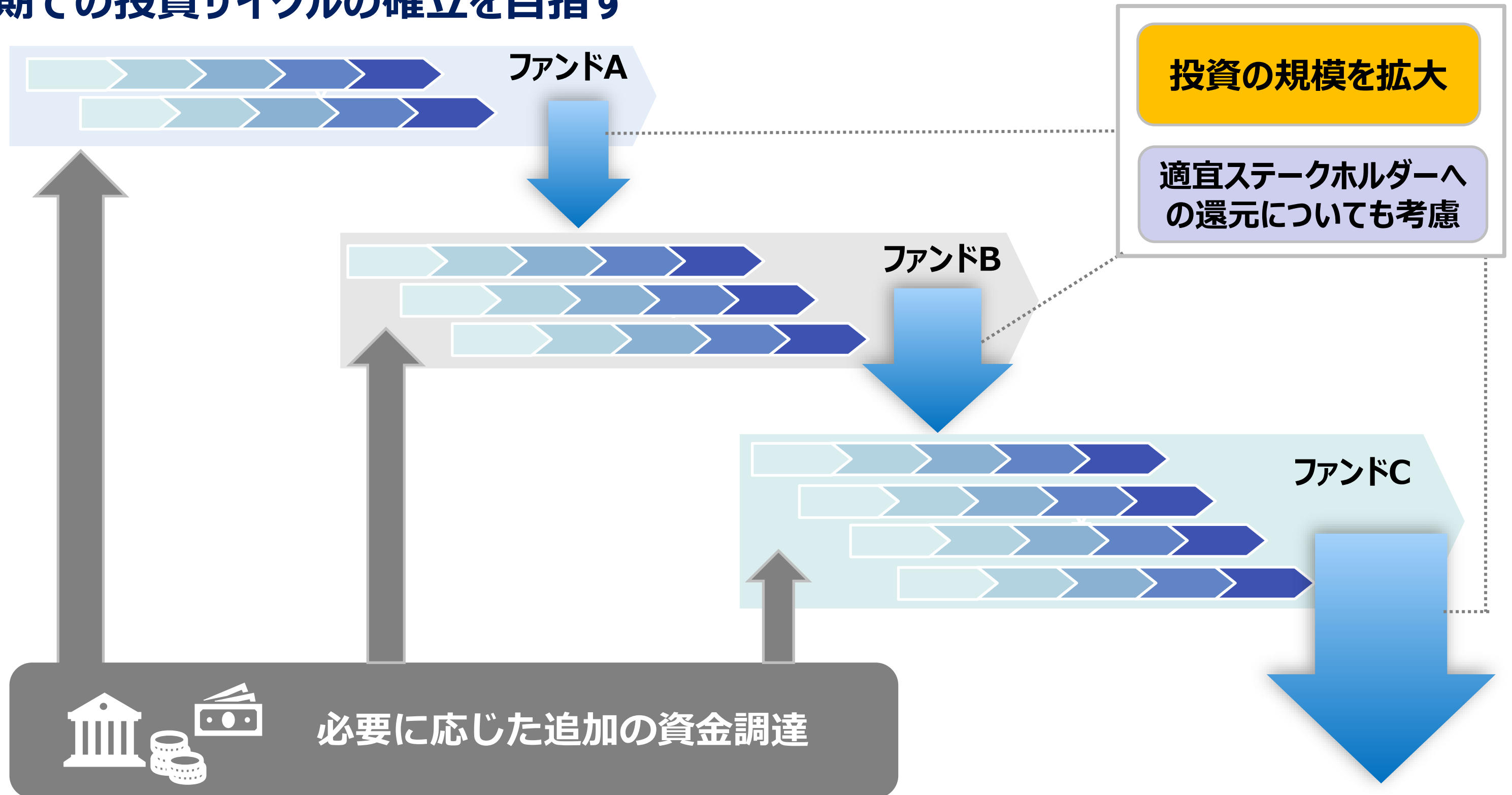
# 投資と回収のサイクル（イメージ）

将来の新規投資資金源の一つは、投資エグジットによるキャッシュイン



# 投資と回収のサイクル (イメージ)

中長期での投資サイクルの確立を目指す

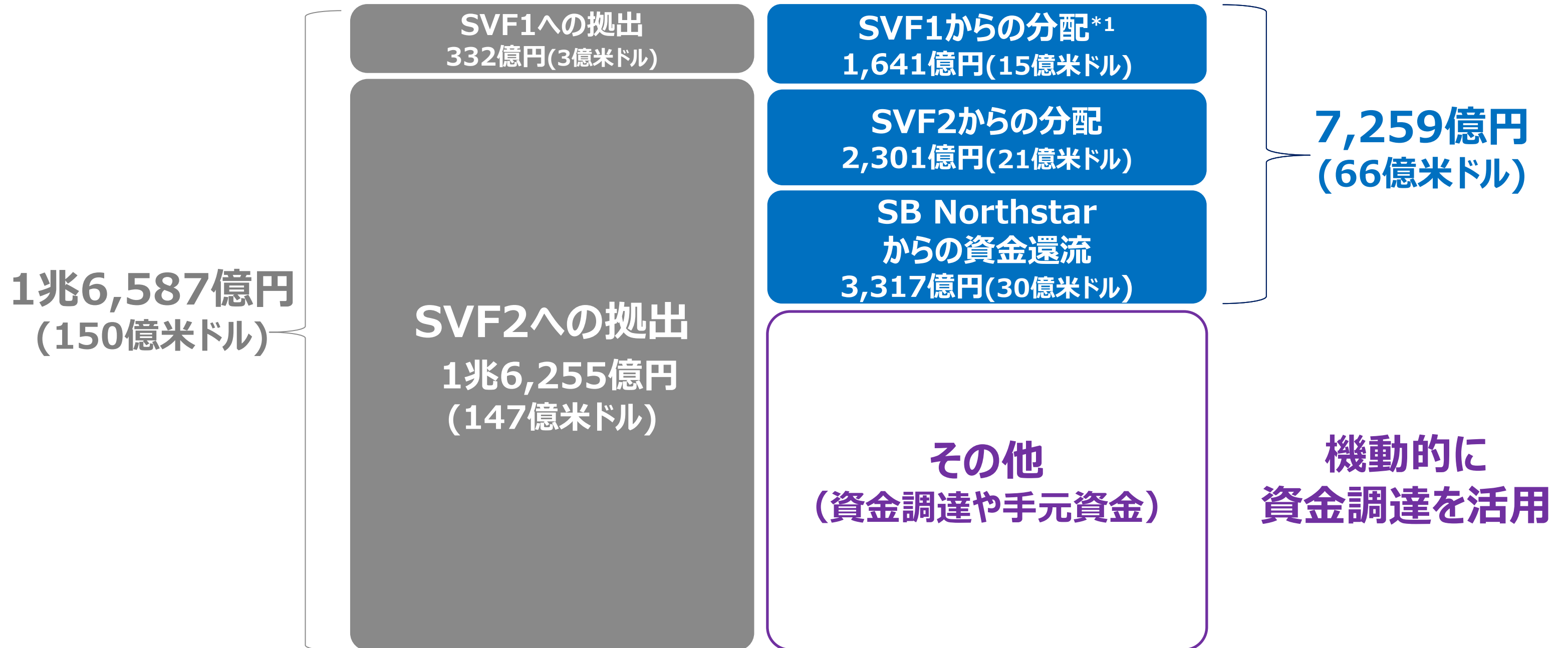


# 投資と回収のサイクル (FY21Q1)

7,259億円の投資資金を回収。SVF2への投資原資に

投資に伴うキャッシュ・アウト

投資回収に伴うキャッシュ・イン

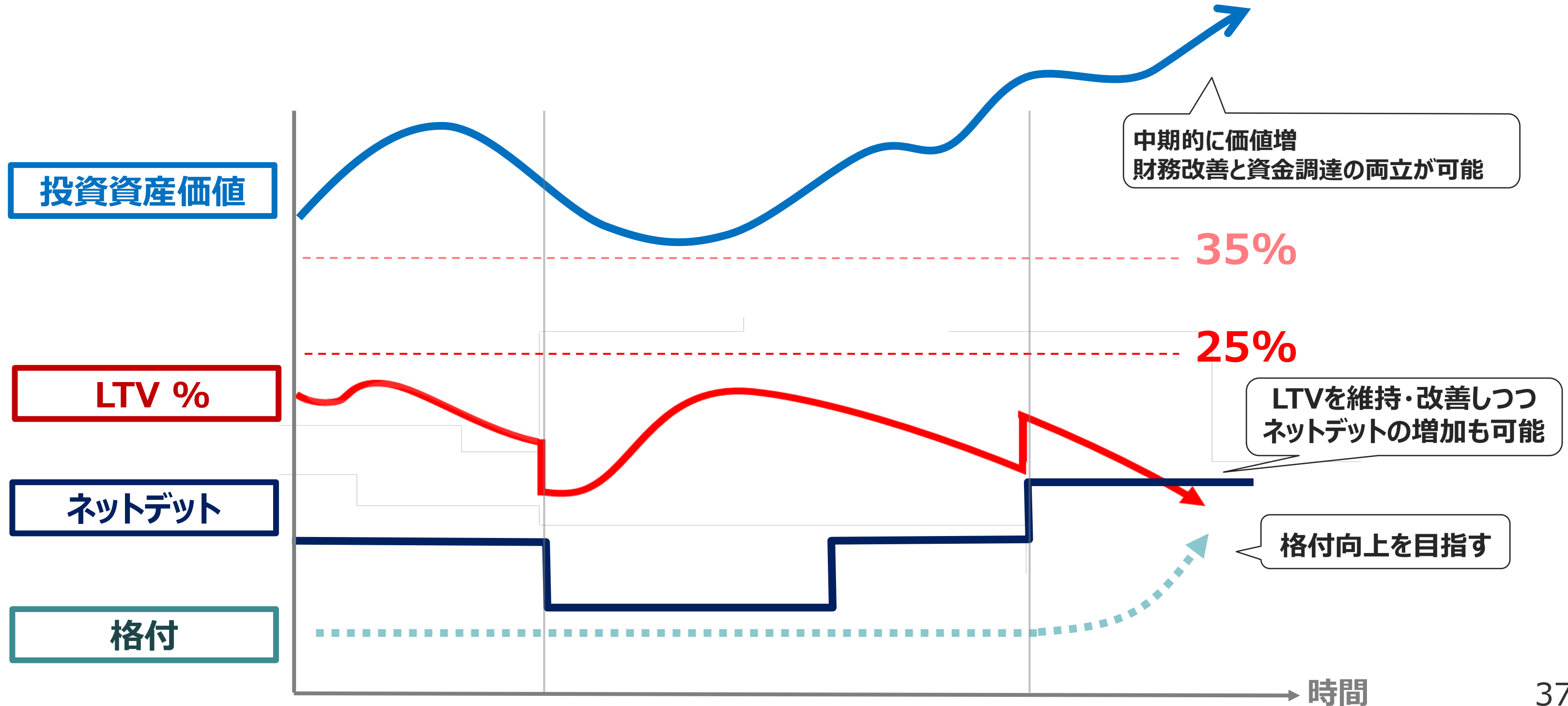


(注) 1USD=110.58円

\*1 インセンティブスキームへの分配金 (2.24億米ドル)を含む。

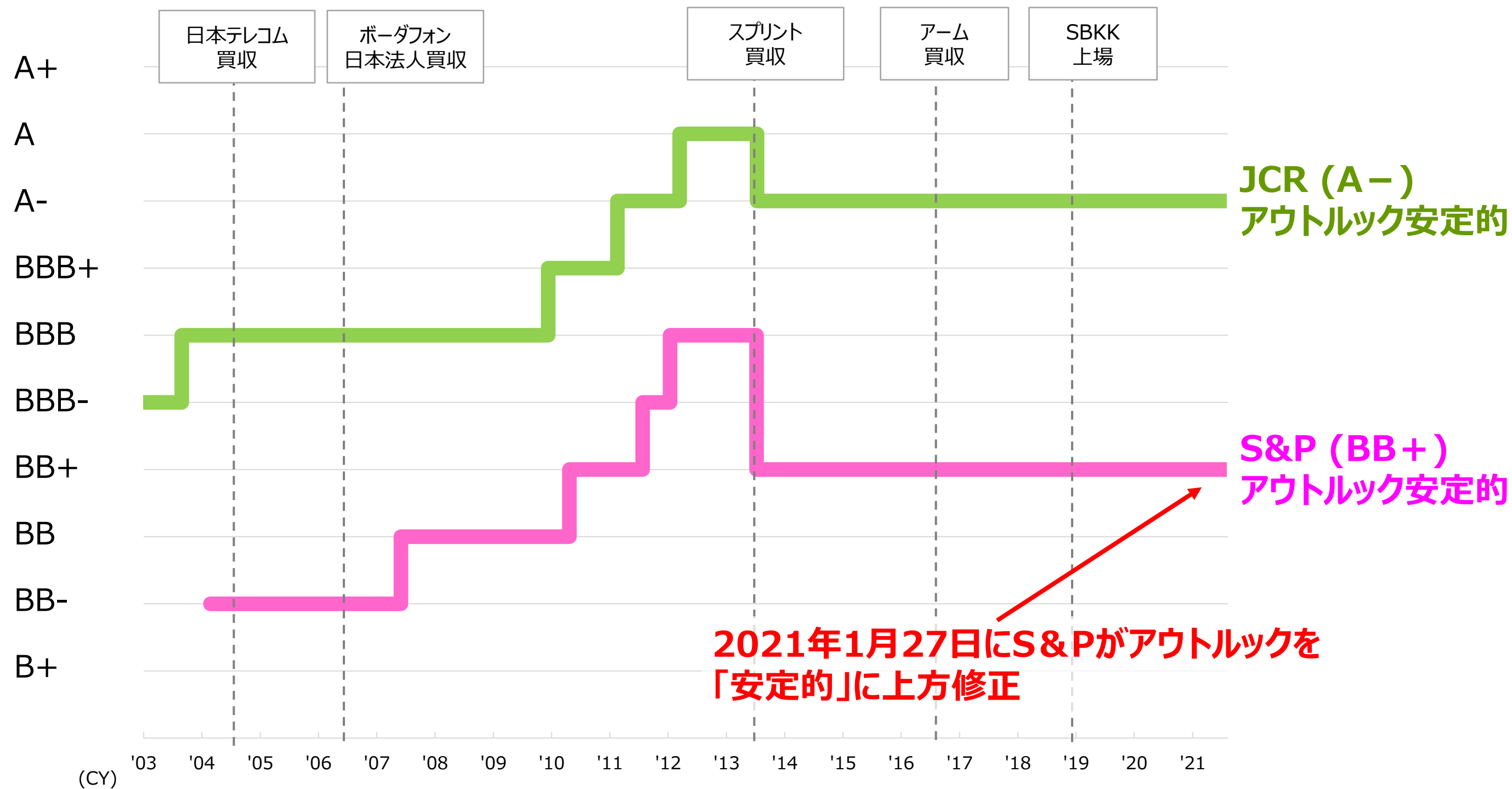
# 目指すべき財務運営（イメージ）

投資の拡大再生産のため資金調達を継続するが、財務規律を守り、ネットデットの増加はアセットの成長より緩やかになるよう運営



# SBGの格付推移

## 投資持株会社の格付規準のもと、格付の向上を目指す



(注) 2021年8月11日時点



弊社IRサイト : <https://group.softbank/ir>

